

# ミセスの「お墓・お墓参り」と「葬儀」に関する調査 集計結果

2010年02月

リビングくらしHOW研究所

## 1. お墓について

ミセスが関係するお墓

- 1 自分が入るお墓
- 2 自分が入ると決めているのは、どんなお墓？

## 2. お墓の購入

購入資金はどこから？

購入の際、重視したいことは？

お墓の情報はどこから？

## 3. お墓について考える

自分のお墓について考えるのはいつ？

- 1 一緒のお墓に入りたい相手
- 2 できれば一緒のお墓に入りたくない相手
- 1 夫婦間でお墓について話しますか？
- 2 夫婦の意見の強さ
- 1 理想的なお墓
- 2 理想のお墓とは？

## 4. お墓参りについて

- 1 お墓参りの頻度(自分の実家の墓)
- 2 お墓参りの頻度(夫の実家の墓)
- お墓参りによく行く時期
- 今後のお墓参り
- 今後のお墓参りの頻度とその理由

## 5. 葬儀について

- 1 自分の葬儀への意向<葬儀について>
- 2 自分の葬儀への意向<宗教について>
- 3 自分の葬儀への意向<参列者について>
- 4 自分の葬儀への意向<やり方について>
- 5 自分の葬儀への意向<派手さについて>
- 6 自分の葬儀への意向<葬儀の時期について>
- 7 自分の葬儀への意向<葬儀の費用について>
- 戒名への意向
- 遺言書への意向
- 形見分けの意向

## 1. お墓について

- ・「夫の実家の墓」「自分の実家の墓」がある人は約3/4ずつ
- ・もしもの時...“自分が入るお墓“が「決まっている」38.2%。「まだない」ミセスが6割
- ・「決まっている」人、「夫の実家の墓」が69.5%。「自分の代で墓を建立する」のは50代以降がメイン

## 2. お墓の購入

- ・お墓を購入する場合、「貯蓄から生前に購入」27.3%。「わからない・決めていない」は3割台
- ・若い世代ほど「価格」重視、年代が高くなるにつれ「交通の便」や「自宅からの距離」が増加
- ・お墓の情報を得るのは「新聞の折込みチラシ」から

## 3. お墓についての考え

- ・自分のお墓について考えるのは、「親が亡くなったとき」29.8%
- ・一緒のお墓に入りたいのは、「夫」67.6%。「自分の子供」や「自分の親」など自身の血縁が中心
- ・できれば一緒のお墓に入りたいくないのは、「夫の親」「夫の兄弟姉妹」「夫の先祖」
- ・お墓について夫婦で話すことが、「たまにある」27.3%
- ・自分たちのお墓についての意見の強さは、「夫婦同じくらい」37.7%
- ・理想的なお墓は、「家単位の先祖代々の墓」32.3%

## 4. お墓参りによく行く時期

- ・ここ数年の平均的な実家の墓の“お墓参り”は、年「1回」34.8%
- ・平均的な夫の実家の“お墓参り”は、年「1回」31.8%
- ・「お墓参り」よく行く時期は「お盆」63.0%。若い世代は「お彼岸」離れ？
- ・今後の“お墓参り”は、「今と変わらない」61.8%。20代では「増えそう」約2割

## 5. 葬儀について

- ・自分の葬儀は、どちらかという「やりたくない」37.9%
- ・自分の葬儀は、「宗教に関係ないかたちで」56.9%
- ・自分の葬儀の参列者は、「身内や身近な人だけで」84.9%
- ・自分の葬儀のやり方は、「遺族にまかせる」68.2%
- ・自分の葬儀の派手さは、「できるだけ質素に」95.3%
- ・葬儀の時期は、「亡くなったときに葬儀をする方がいいと思う」94.9%
- ・葬儀の費用は、「自分が用意しておく」71.6%
- ・7割以上が「戒名はいらない」
- ・世代に関係なく、「遺言は書いておきたい」59.2%
- ・「形見をもらってほしい人がいる」26.7%

## 調査目的

全国の既婚女性のお墓とお墓参り、葬儀への意識について把握する

## 調査期間

2010年02月18日(木)～21日(日)

## 調査方法

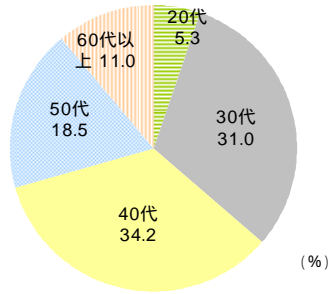
リビング新聞のウェブサイト「えるこみ」での Webアンケート調査

## 調査対象者

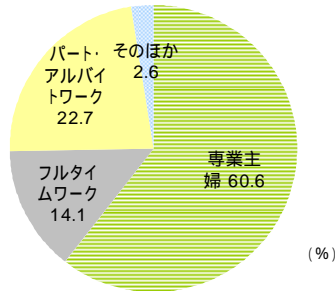
配偶者のいる女性 集計数:1346人

プロフィール

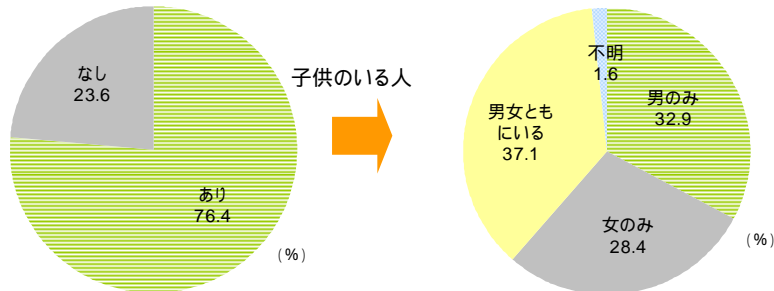
1 年代 (n=1,346) \* 平均年齢 44.48歳



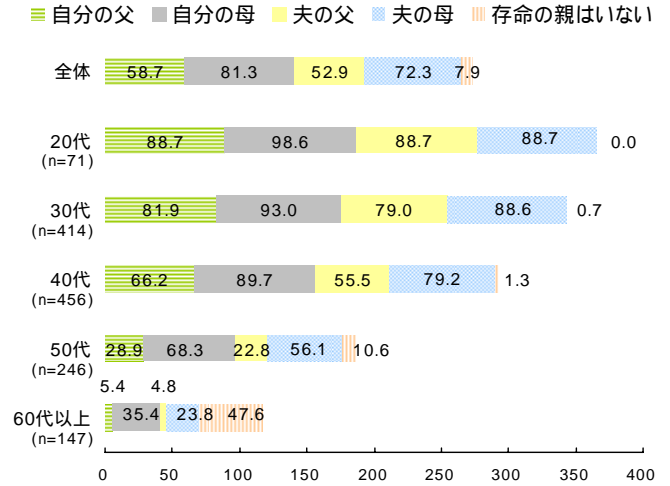
2 本人 職業 (n=1,346)



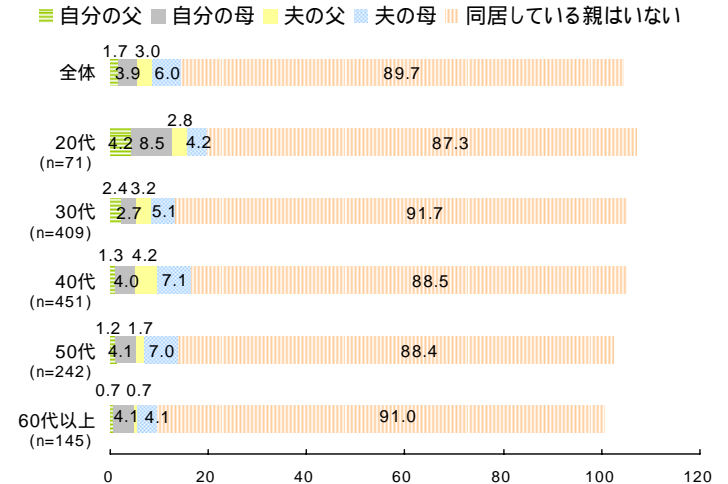
3 子供の有無と性別 (n=1,346)



4 両親の状況 / 存命の方 (n=1,334)



5 両親との同居 (n=1,318)



## プロフィール

6

## 居住エリア (n=1,346)

	n	%
北海道	19	1.4
青森県	1	0.1
岩手県	1	0.1
宮城県	27	2.0
秋田県	2	0.1
山形県	2	0.1
福島県	14	1.0
茨城県	3	0.2
栃木県	11	0.8
群馬県	2	0.1
埼玉県	77	5.7
千葉県	107	7.9
東京都	219	16.3
神奈川県	169	12.6
新潟県	1	0.1
富山県	1	0.1
石川県	8	0.6
福井県	1	0.1
山梨県	0	0.0
長野県	4	0.3
岐阜県	3	0.2
静岡県	17	1.3
愛知県	63	4.7
三重県	2	0.1

	n	%
滋賀県	20	1.5
京都府	52	3.9
大阪府	212	15.8
兵庫県	166	12.3
奈良県	2	0.1
和歌山県	10	0.7
鳥取県	1	0.1
島根県	1	0.1
岡山県	18	1.3
広島県	27	2.0
山口県	0	0.0
徳島県	1	0.1
香川県	16	1.2
愛媛県	13	1.0
高知県	1	0.1
福岡県	32	2.4
佐賀県	2	0.1
長崎県	1	0.1
熊本県	7	0.5
大分県	1	0.1
宮崎県	1	0.1
鹿児島県	6	0.4
沖縄県	2	0.1

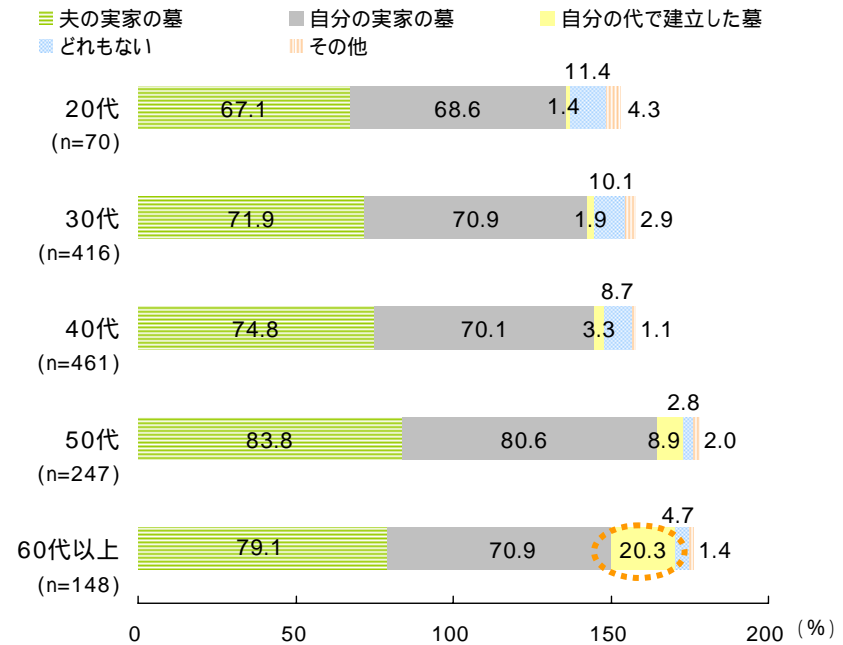
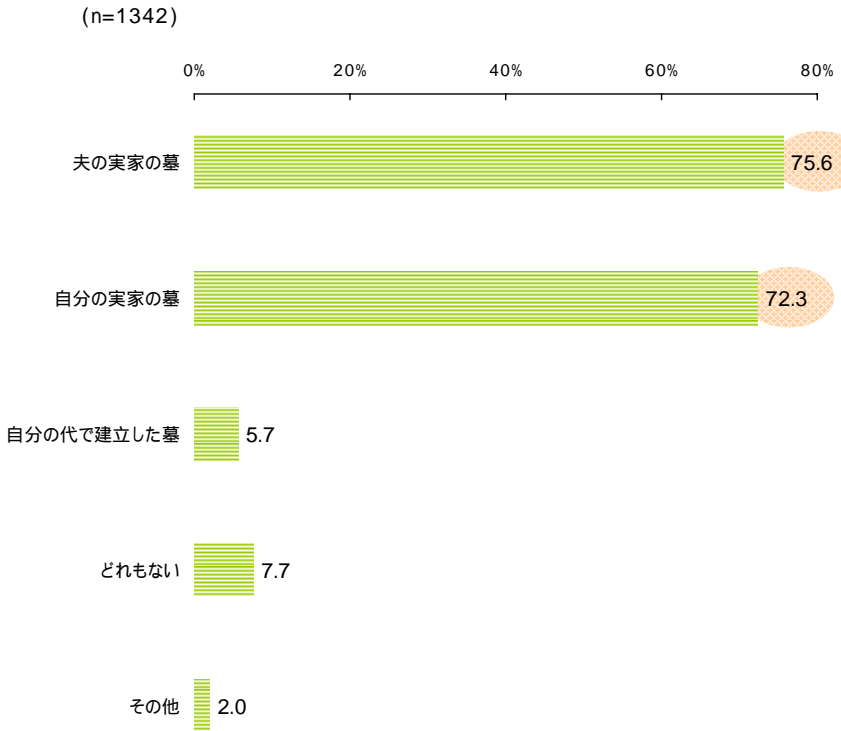
すでにあるお墓は「夫の実家の墓」「自分の実家の墓」が約3/4ずつ。「自分の代で建立」は50代以降

ミセス自身が関係のあるお墓で、すでにあるものを聞くと、「夫の実家の墓」がある人は75.6%、「自分の実家の墓」がある人は72.3%。「夫の実家の墓」「自分の実家の墓」の両方があるという人は全体の半数以上となった。

年代別でみると、20代・30代では「自分の代で建立した墓」は1%台であるのに対し、50代では8.9%、60代以上では20.3%と徐々に増加。自分でお墓を建立する中心となっているのは、50代以降であるようだ。

**全体** Q. あなた自身が関係するお墓で、すでにあるものを選んでください。  
(MA)

**年代別** Q. あなた自身が関係するお墓で、すでにあるものを選んでください。  
(MA)





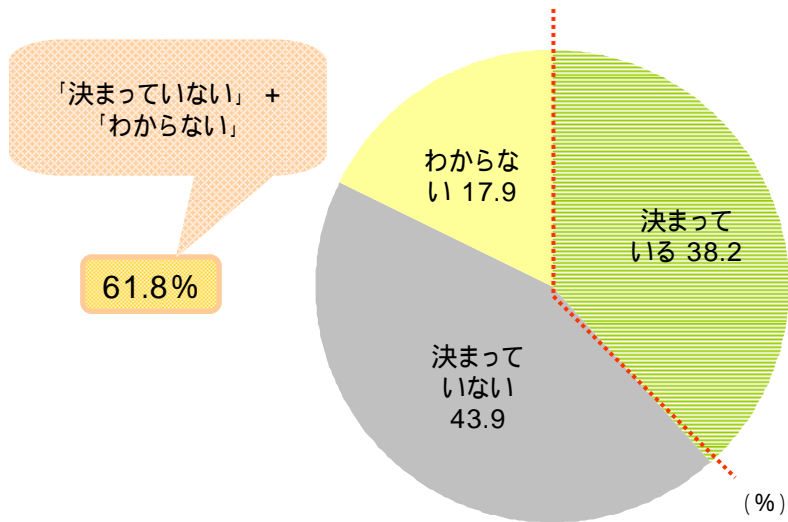
もしもの時...“自分が入るお墓“が「決まっている」38.2%。「まだない」ミセスが6割。

もしもの場合に、自分が入るお墓が「決まっている」人は38.2%。「決まっていない」43.9%と「わからない」17.9%をあわせて61.8%のミセスが、入るお墓が”まだない”状態であった。

年代別でみると、自分が入るお墓が「決まっている」のは、20代では2割台、30代・40代では3割台、50代では4割台、60代以上では6割台と、50代以降で増加する傾向がみられた。やはり50代以降で、現実的にお墓について考えることが多くなると考えられる。

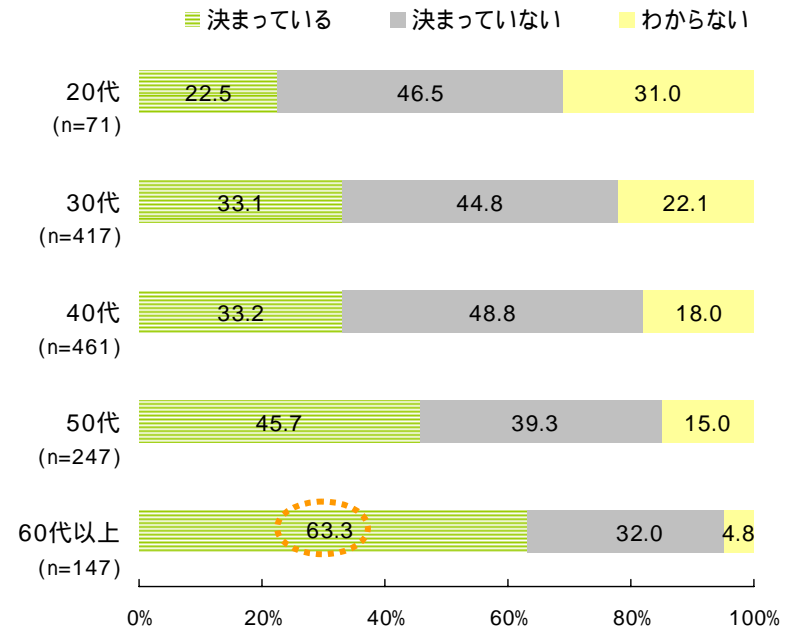
全体

Q. あなたは今、もしもの場合に自分が入るお墓が決まっていますか？  
(SA)  
(n=1343)



年代別

Q. あなたは今、もしもの場合に自分が入るお墓が決まっていますか？  
(SA)



「決まっている」人、「夫の実家の墓」が69.5%。「自分の代で墓を建立する」のは50代以降がメイン

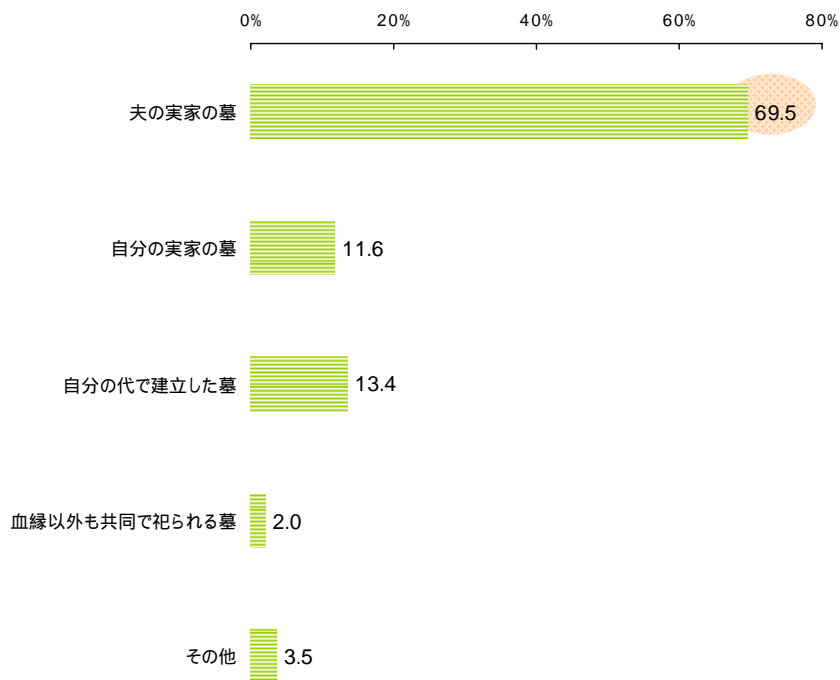
もしもの場合に、自分が入るお墓が「決まっている」と回答した人に、どのようなお墓かを聞くと、「夫の実家の墓」が69.5%で最多。次いで「自分の実家の墓」11.6%、「自分の代で建立した墓」13.4%と続く。

年代別でみると、20代・30代では「夫の実家の墓」が8割台と高く、50代では6割、60代以上では5割台と、年代が高いほど減少。反対に「自分の代で建立した墓」は40代以下では1割に満たないが、50代では17.9%、60代以上では30.4%と、50代以上で建立が目立つ。

全体

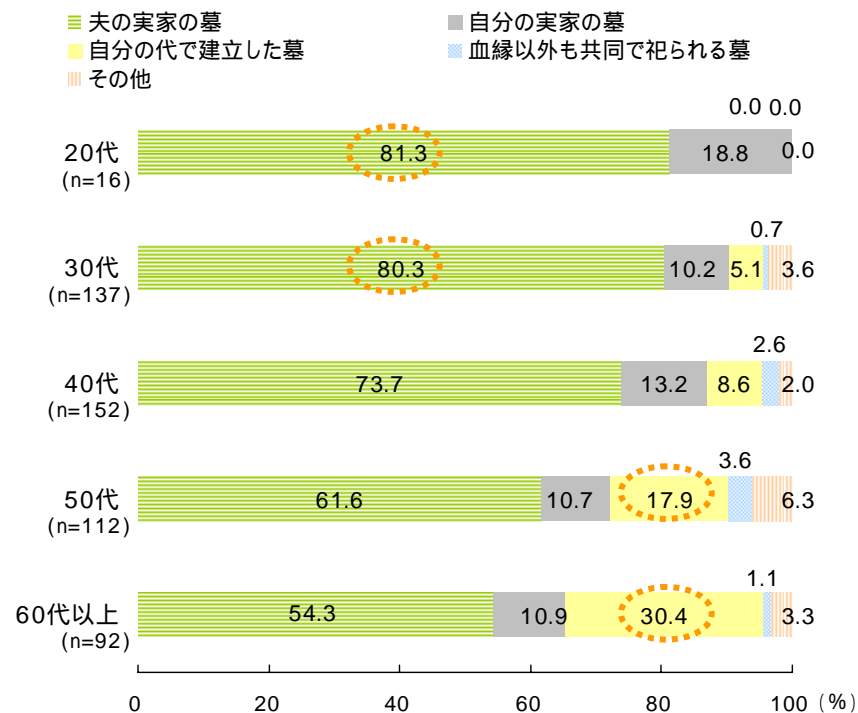
Q. 「決まっている」人、そのお墓はどんなものですか？ (SA)

(n=509)



年代別

Q. 「決まっている」人、そのお墓はどんなものですか？ (SA)



### お墓を購入する場合、「貯蓄から生前に購入」27.3%。「わからない・決めていない」は3割台

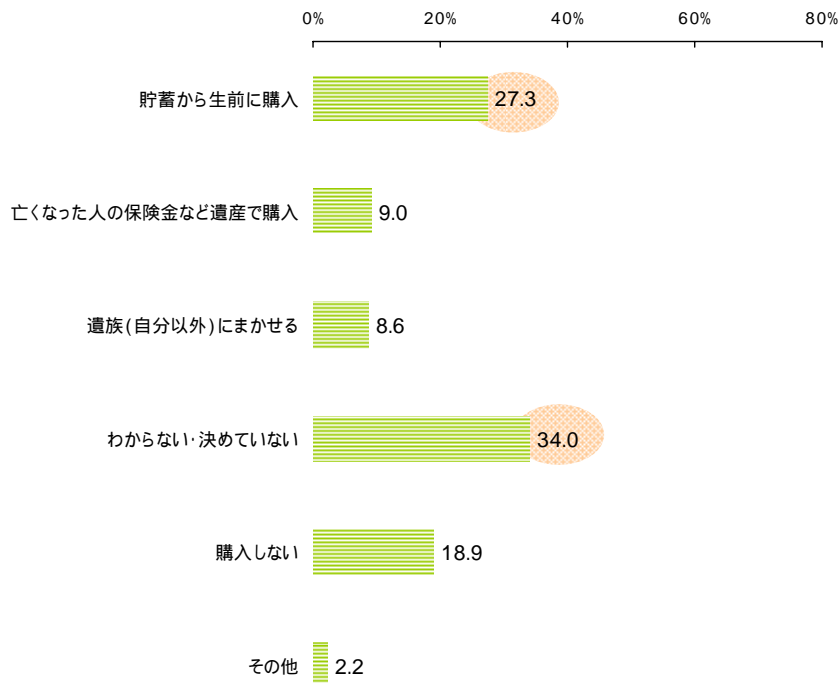
お墓の購入について、自分たちのお墓を購入する場合に、購入資金はどうしたいと考えているか聞いたところ、「わからない・決めていない」が34.0%で最多。「貯蓄から生前に購入」27.3%、また、「購入しない」は18.9%となった。

年代別でみると、30代・40代では「わからない・決めていない」が約4割と高いが、50代・60代以上では2割台に減少。「貯蓄から生前に購入」を選んだ人は60代で42.4%と高い。また20代でも37.1%と4割近い。

全体

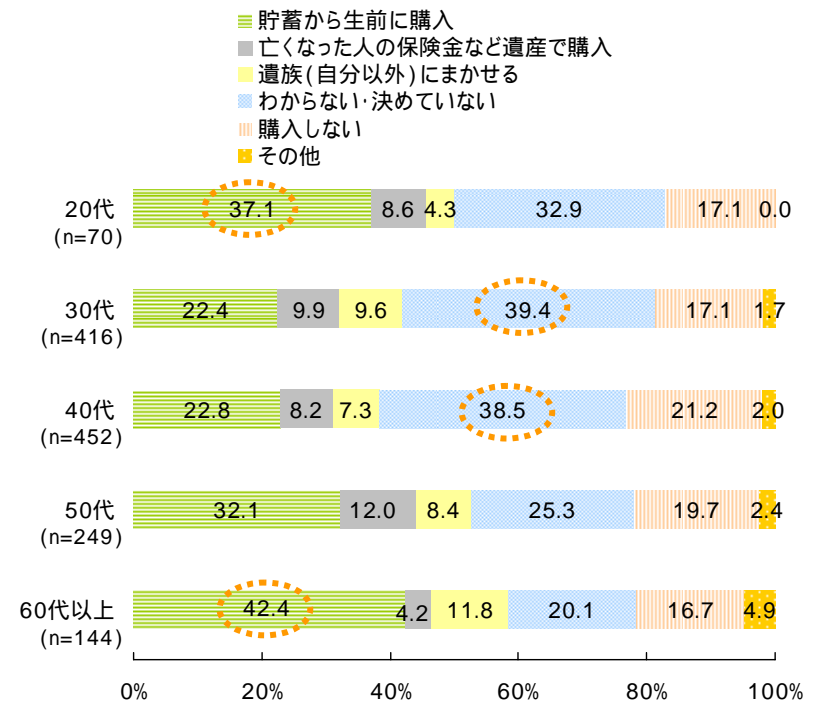
Q. 自分たちのお墓を購入する場合、購入資金はどうしたいと考えていますか？ (SA)

(n=1331)



年代別

Q. 自分たちのお墓を購入する場合、購入資金はどうしたいと考えていますか？ (SA)



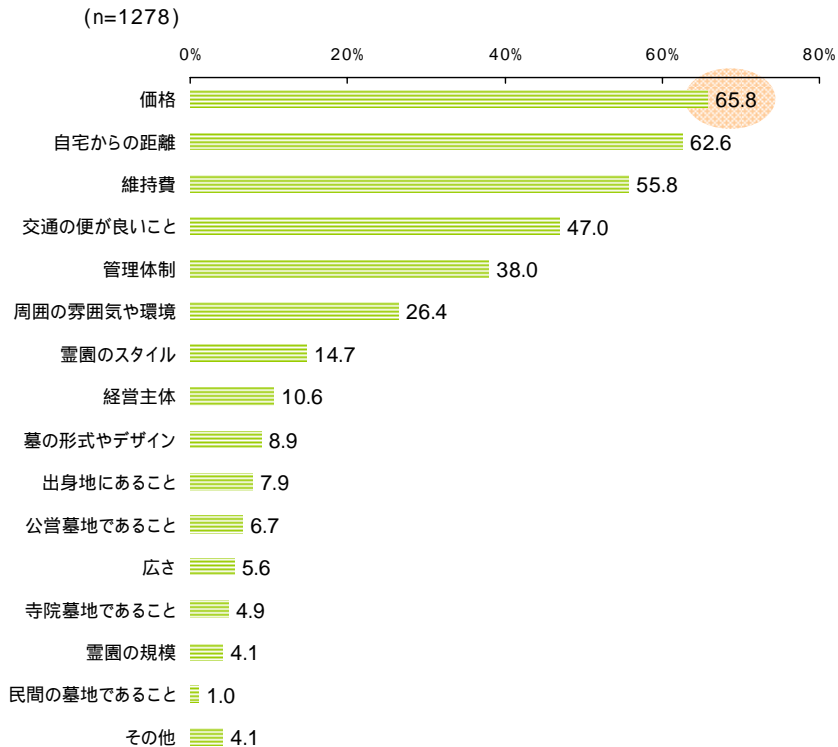
### 若い世代ほど「価格」重視、年代が高くなるにつれ「交通の便」や「自宅からの距離」が増加

お墓を購入する際に、何を重視したいかを聞いたところ、「価格」が65.8%でトップとなった。次いで、「自宅からの距離」62.6%、「維持費」55.8%、「交通の便が良いこと」47.0%、「管理体制」38.0%と続く。

年代別でみると、20代では「価格」を重視。30代以降では、「自宅からの距離」や「経営主体」が高くなった。また、50代・60代以上では「交通の便が良いこと」で半数以上が重視。全体に年代が若いほど「価格」重視、年代が高くなり、実際に購入を考えるにつれ「交通の便」や「自宅からの距離」がジワジワと増加となった。

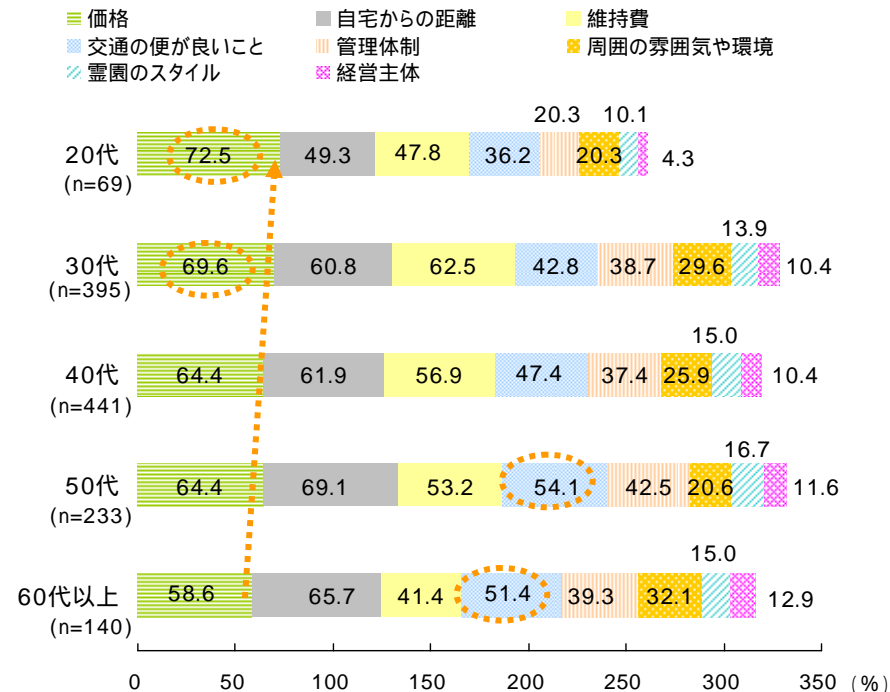
全体

Q. お墓を購入する際に何を重視したいですか？ (MA)



年代別

Q. お墓を購入する際に何を重視したいですか？ <上位8位> (MA)



お墓の情報を得るのは「新聞折込みチラシ」から

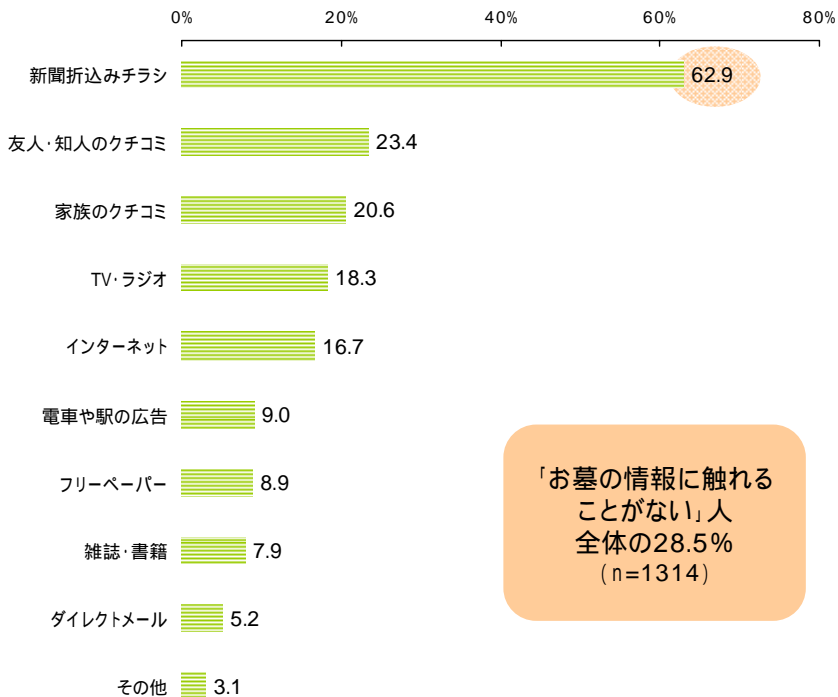
お墓の情報はどこから得ることが多いかを聞いたところ、「新聞の折込みチラシ」が62.9%でトップとなった。次いで「友人・知人のクチコミ」23.2%、「家族のクチコミ」20.6%と続く。また、「お墓の情報に触れることはない」という人は全体の28.5%であった。

年代別で見ると、どの年代においても「新聞折込みチラシ」がそれぞれ5割～7割台と高い。また「友人・知人のクチコミ」は20代、50代・60代以上で約3割、「家族のクチコミ」は20代・30代で2割台、「TV・ラジオ」は20代で27.9%と高くなった。

全体

Q. お墓の情報はどこから得ることが多いですか？ (MA)

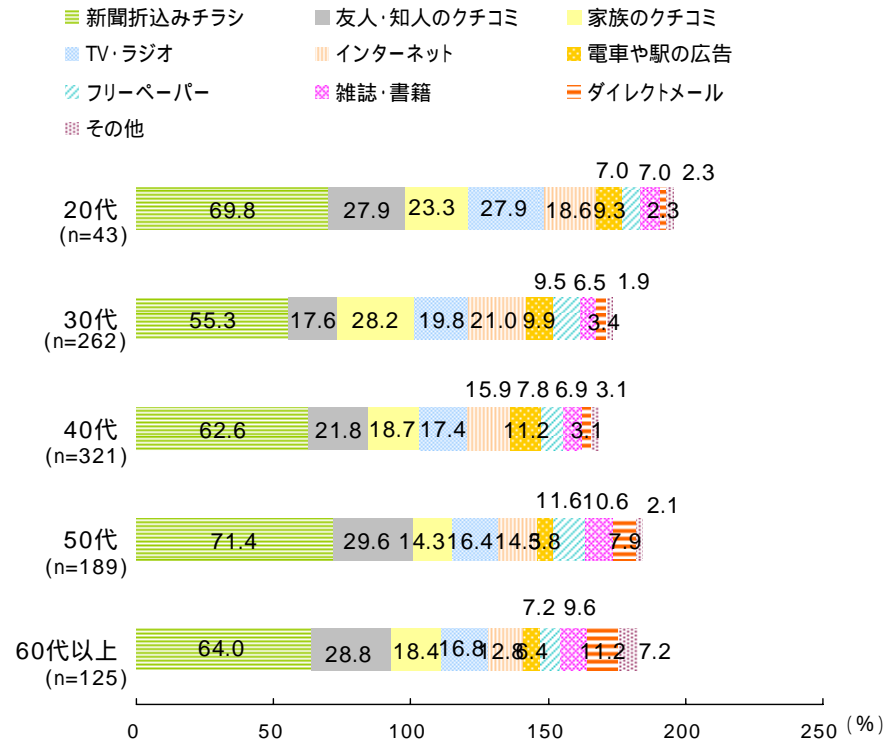
(n=940)



「お墓の情報に触れる  
ことがない」人  
全体の28.5%  
(n=1314)

年代別

Q. お墓の情報はどこから得ることが多いですか？ (MA)



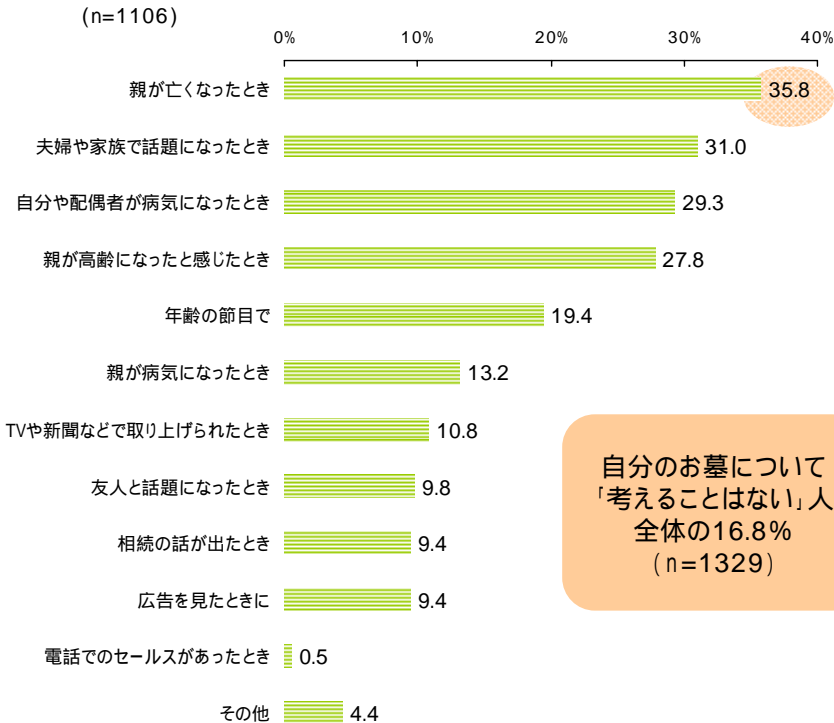
自分のお墓について考えるのは、「親が亡くなったとき」35.8%

自分のお墓について考えるのはどのようなタイミングかを聞いたところ、「親が亡くなったとき」が35.8%でトップ。次いで「夫婦や家族で話題になったとき」31.0%、「自分や夫が病気になったとき」29.3%、「親が高齢になったと感じたとき」27.8%と、夫や両親など身近な人の健康状態の変化や家族の話題によるところが大きいようだ。

年代別で比較すると、20～40代では「親が亡くなったとき」「親が高齢になったと感じたとき」の割合が高いが、50代・60代以上では「年齢の節目で」お墓について考えるという人が29%台に増加し、40代以下の約2倍となった。

全体

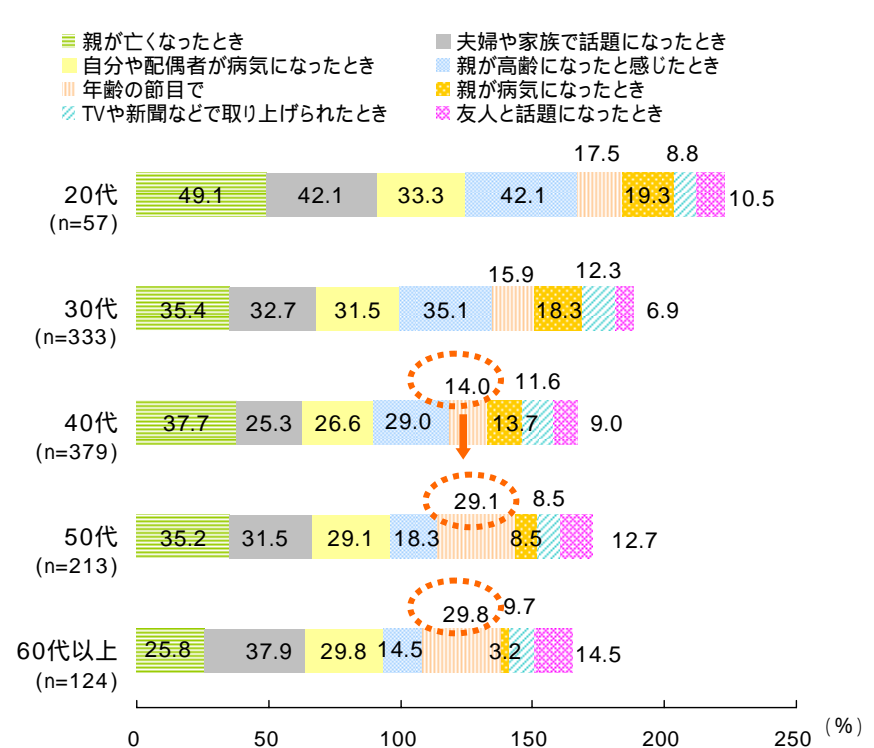
Q. あなたが、自分のお墓について考えるのは、どのようなタイミングですか？ (MA)



自分のお墓について「考えることはない」人全体の16.8% (n=1329)

年代別

Q. あなたが、自分のお墓について考えるのは、どのようなタイミングですか？ <上位8位> (MA)



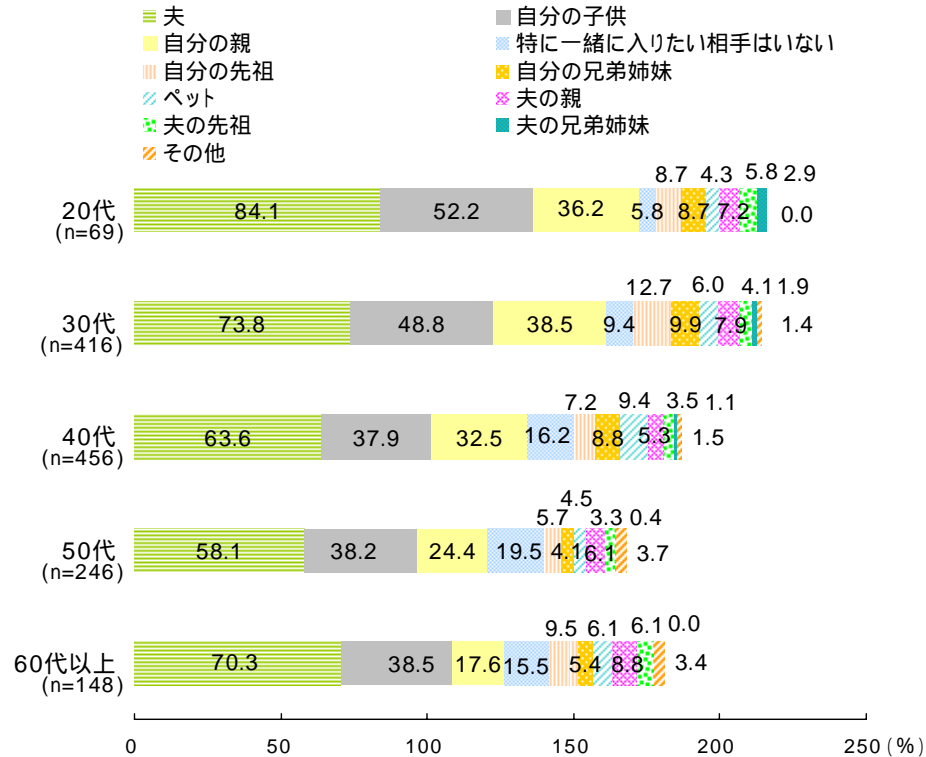
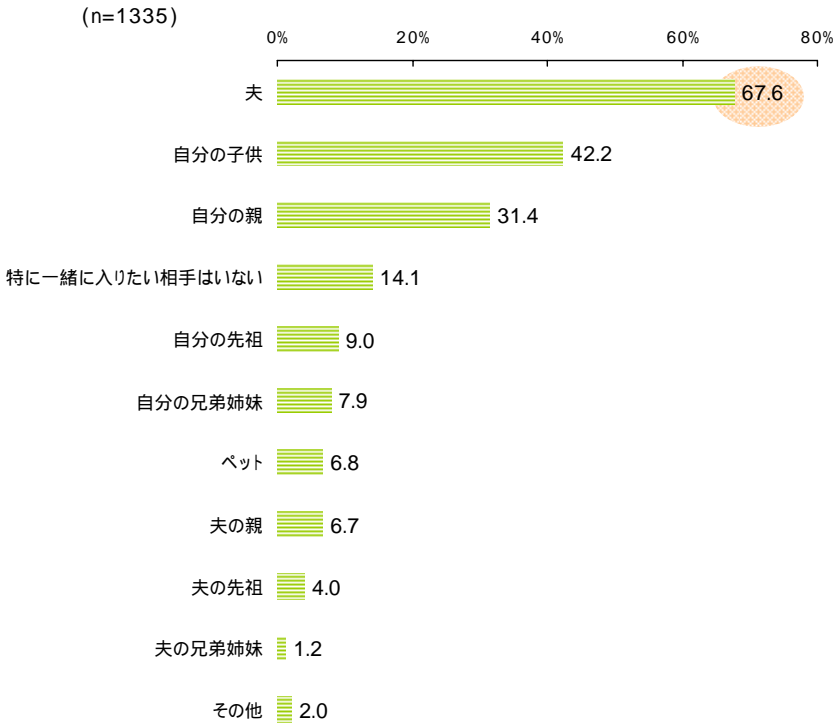
一緒のお墓に入りたいのは、「夫」67.6%。「自分の子供」や「自分の親」など自身の血縁が中心

“一緒のお墓に入りたいと思う相手”を選んでもらったところ、全体の67.6%が「夫」と一緒のお墓に入りたいと回答。第2位は「自分の子供」42.2%、第3位は「自分の親」31.4%と自分自身の血縁が中心という結果に。

年代別でみると、世代による夫婦関係を象徴しているのか、「夫」を選んだ人が最も多かったのは20代で84.1%と高く、30代では7割台、40代で6割台と徐々に下降し50代では58.1%まで減少。しかし、60代以上では再び7割台になった。子供が手を離れ、夫婦という単位が再認識される年代である影響と思われる。また、20代・30代では「自分の子供」が5割前後と高く、「自分の親」も20代～40代では3割台と、若い世代ほど自分の血縁への意識が強い傾向がみられた。

全体 Q. あなたが、一緒のお墓に入りたいと思う相手は？ (MA)

年代別 Q. あなたが、一緒のお墓に入りたいと思う相手は？ (MA)



#### できれば一緒のお墓に入りたくないのは、「夫の親」「夫の兄弟姉妹」「夫の先祖」

一方で、できれば一緒に入りたくないという相手は、「特にいない」というミセスが約6割。しかし、残りの4割のミセスの中には、「夫の親」「夫の兄弟姉妹」「夫の先祖」とは、できれば入りたくないと思う人が、それぞれ25%前後。

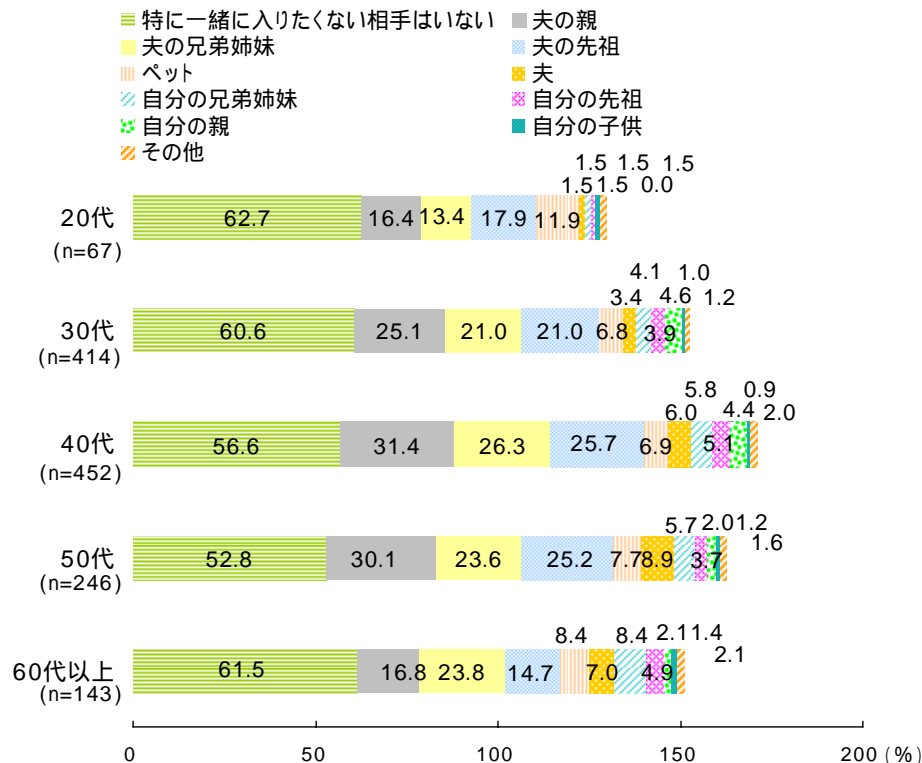
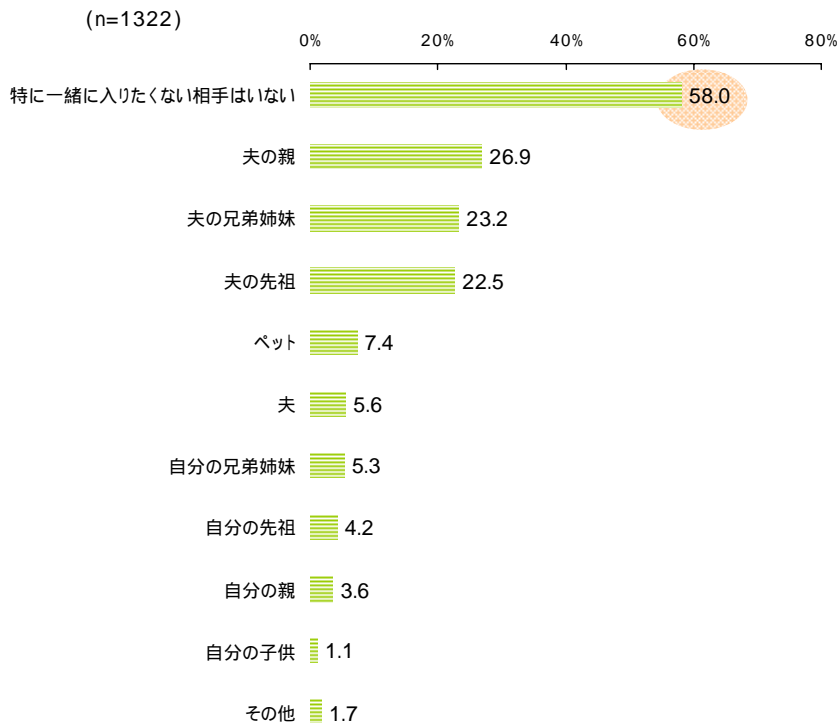
年代別では、「夫の親」「夫の兄弟姉妹」「夫の先祖」とも40代・50代で「一緒に入りたくない」と思う人が多くっており、それぞれ2割台～3割前後となった。

全体

Q. あなたが、できれば一緒のお墓に入りたくないと思う相手は？  
(MA)

年代別

Q. あなたが、できれば一緒のお墓に入りたくないと思う相手は？  
(MA)





お墓について夫婦で話すことが、「たまにある」27.3%。

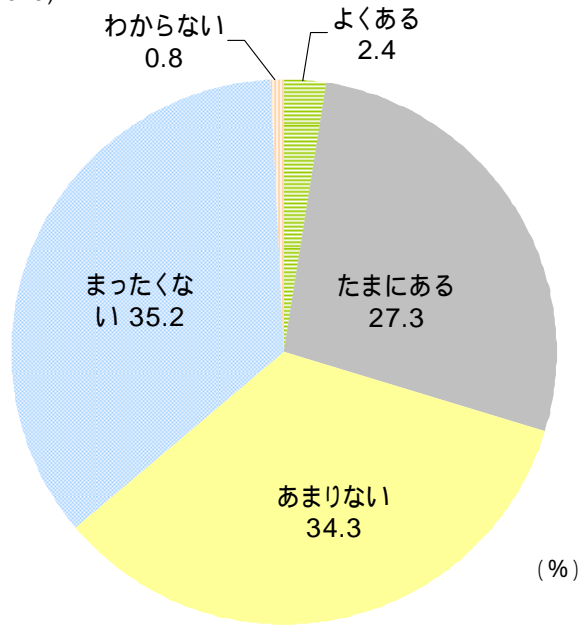
お墓について夫婦で話すことがあるかを聞いたところ、「よくある」2.4%、「たまにある」27.3%。「よくある」と「たまにある」を合わせて29.7%と、全体の約3割で夫婦でお墓について話すことがあるとなった。

年代別でみると、「たまにある」は年代が高いほど多く、20代・30代では1割台であるのに対し、60代以上では49.7%と約半数となった。また、20代・30代では「まったくない」が5割前後と高い。

全体

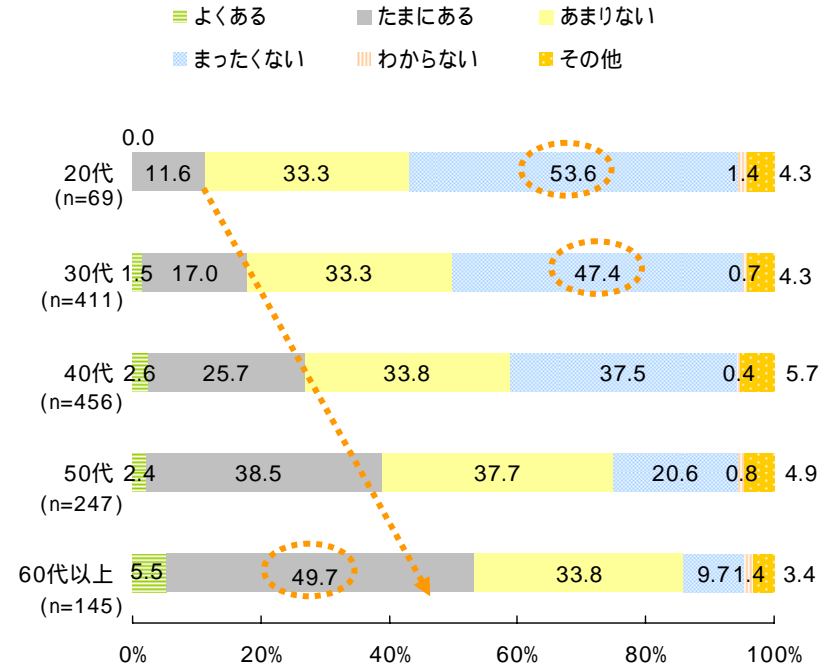
Q. お墓について夫婦で話すことがありますか？ (SA)

(n=1328)



年代別

Q. お墓について夫婦で話すことがありますか？ (SA)



自分たちのお墓についての意見の強さは、「夫婦同じくらい」37.7%。

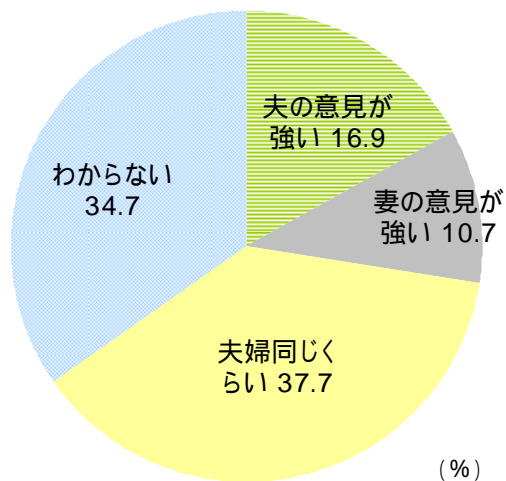
自分たちのお墓についての意見は、夫婦どちらが強いかを聞いたところ、「夫婦同じくらい」が37.7%、次いで「夫の意見が強い」16.9%、「妻の意見が強い」10.7%となった。また「わからない」は34.7%と、全体の約1/3となった。

年代別でみると、20代～40代では、「わからない」が4割前後と高く、次いで「夫婦同じくらい」がそれぞれ3割台。50代・60代以上では「夫婦同じくらい」が4割台となっており、「夫の意見が強い」は2割台となった。

全体

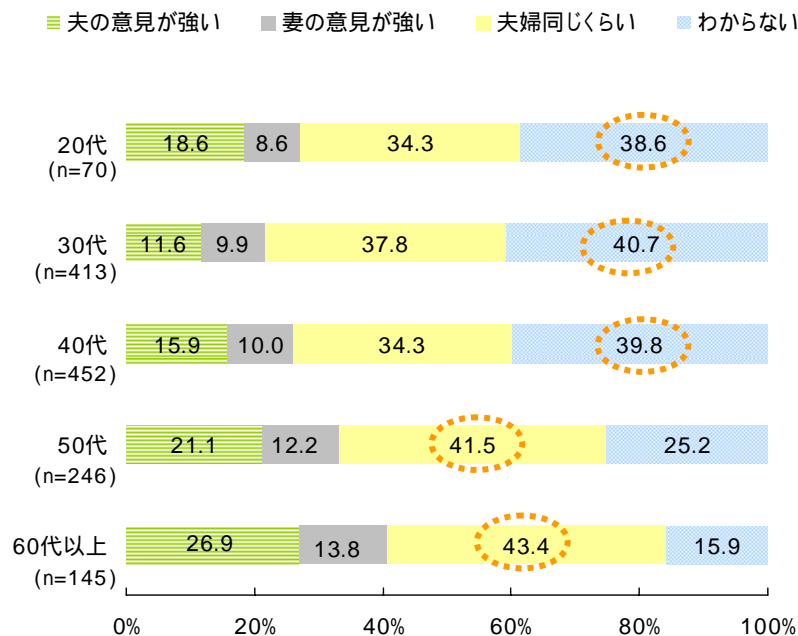
Q. 自分たちのお墓についての意見は、夫婦どちらが強いですか？  
(SA)

(n=1326)



年代別

Q. 自分たちのお墓についての意見は、夫婦どちらが強いですか？  
(SA)



理想的なお墓は、「家単位の先祖代々の墓」32.3%。

自分のお墓についてどのようなものが理想的かを聞いたところ、「家単位の先祖代々の墓」が32.3%、次いで「散骨などで墓は作らない」27.2%、「夫婦と独身の子供を単位とした墓」19.5%となった。

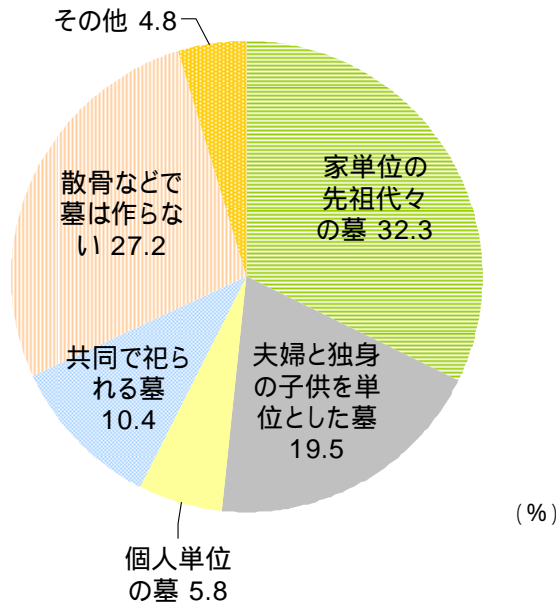
年代別でみると、20代・30代では、「家単位の先祖代々の墓」が約4割と高く、40代では「散骨などで墓は作らない」34.2%と、どの年代よりも多くなった。60代以上では「共同で祀られる墓」が17.7%と20代の約3倍となった。

若い年代では比較的、「夫婦と独身の子供を単位とした墓」への意向が他の年代に比べて高く、反対に年代が高いほど、「共同で祀られる墓」を選ぶ割合が多くなった。

全体

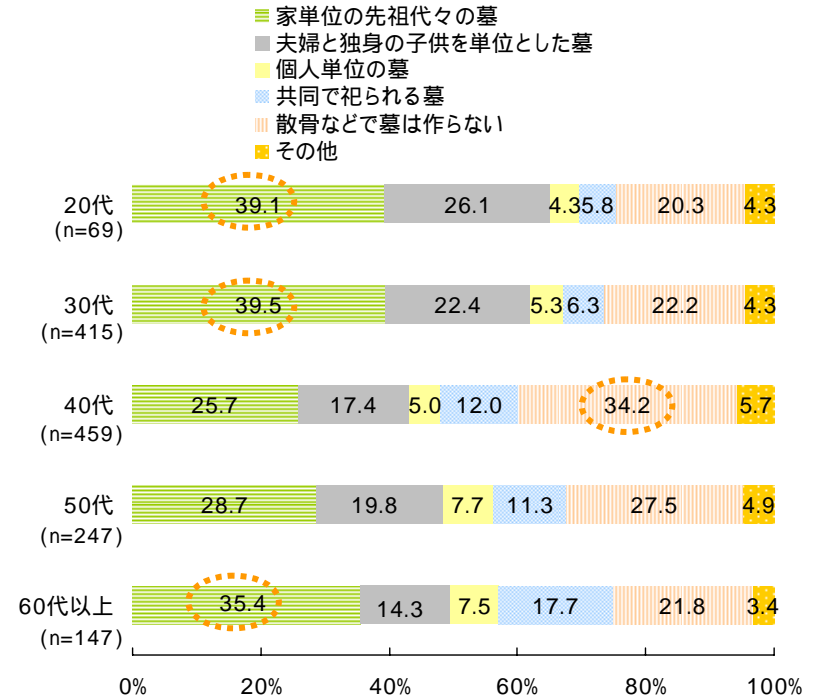
Q. 自分のお墓について、どのようなものが理想的？(SA)

(n=1337)



年代別

Q. 自分のお墓について、どのようなものが理想的？(SA)



自分のお墓について、こんなお墓にしたい、ステキだと思うのはどんなお墓ですか？（フリーアンサーから抜粋）

### 【こんなお墓がいい】

お花とお水が絶えることなく、雑草などがきれいに除去されているような、気持ちのいいお墓（26歳/専業主婦・千葉県）  
石ではないお墓。強化プラスチックの中に造花が入っているようなものでもいい。キレイだと思う。（28歳/専業主婦・東京都）  
自分達の代だけならば小さくても好きな言葉を墓石に彫る&好きなデザインで墓石の形にこだわらない物にしたい（34歳/専業主婦・東京都）

生前の好きだったもののかたどったお墓（37歳/専業主婦・埼玉県）  
外国のように芝生が敷き詰められた中にある。隣と境界がなく、手入れがしやすい。見た目に明るい（44歳/専業主婦・兵庫県）  
シンプルでスタイリッシュ。掃除がしやすい（44歳/専業主婦・大阪府）  
墓石に「家之墓」以外に自分の好きな言葉を入れる。縦長ではなく横長で黒い石がいい（48歳/専業主婦・埼玉県）  
昔ながらの家の墓と書いてあるのではなく花の絵とかが描いてあるのが良い（53歳/パート・アルバイト・千葉県）

### 【なるべく迷惑をかけたくない】

マンションのようなタイプのお墓があると聞いた事があるので管理が楽な方が子供達の手をわずらわせずに済むかなと感じる（42歳/専業主婦・兵庫県）

末代に管理の負担を感じさせず、気楽にお墓参りをしてもらえるようなものが望ましいと思う（45歳/専業主婦・大阪府）  
基本的には散骨が良いと思っている。後に残った者が生き易いようにすれば良いと思う（46歳/パート・アルバイト・大阪府）  
維持、費用とも、残った人の負担にならないような形が良い。樹木葬や、自宅での家具調の仏壇だけ、というのに興味あり（49歳/パート・アルバイト・神奈川県）

### 【足を運んでもらえる】

どのような形でも、定期的に家族がお参りに来ているお墓であれば、素敵だなと感じます（33歳/フルタイム・静岡県）  
豪華でなくてよいので、身近な場所で、何度も足を運んでほしい（37歳/専業主婦・愛知県）  
普通のお墓で良いが、つねに草花が感じられる所がいい。ものものしくなく、一人でも気軽にお参り出来るような場所（40歳/パート・アルバイト・沖縄県）  
共同で祀られていて、いつでも誰かがお参りしてくれるような、いつもお花が絶えないようなお墓です（45歳/パート・アルバイト・京都府）  
形式にはとらわれなくても個人を偲ばせるお墓（46歳/パート・アルバイト・東京都）  
母が亡くなったときに、父が公園墓地を購入した。花や植物がいっぱいあり、手入れが行き届いていて、明るくてとても気持ちの良い場所で、1人でお参りしても全然薄気味悪さがない。ここなら私も入れる（47歳/専業主婦・埼玉県）  
海が見えたり、季節季節でお花が綺麗に咲いていたり、管理がよく行き届いていて、夏場に行っても蚊に刺されたりしない所、墓石に統一感があって外国のお墓みたいのが好きです。お墓参りに来てくれた人達がまた来たいな~と思うようなところがいいです（58歳/その他・東京都）

ここ数年の平均的な自分の実家のお墓の“お墓参り“は、年「1回」34.8%。

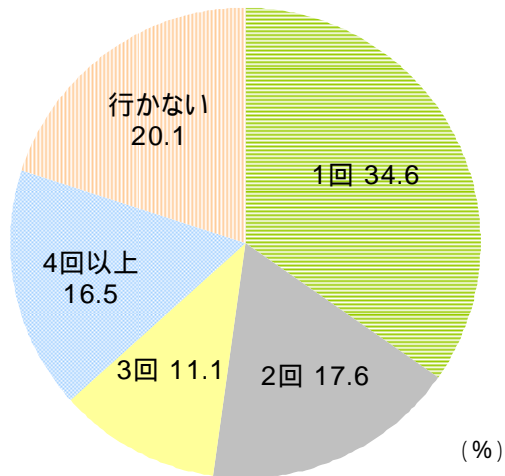
ここ数年の平均的な自分の実家の墓のお墓参りは、1年間に「1回」34.8%、次いで「2回」17.6%、「4回以上」20.1%となった。また、「行かない」という人は約2割。

年代別でみると、どの年代においても1年間に「1回」が最も多くなった。特に60代以上では4割と高い。20代～40代では、「行かない」という人が2割以上となった。反対に50代・60代以上では「4回以上」という人の割合が2割前後となった。

全体

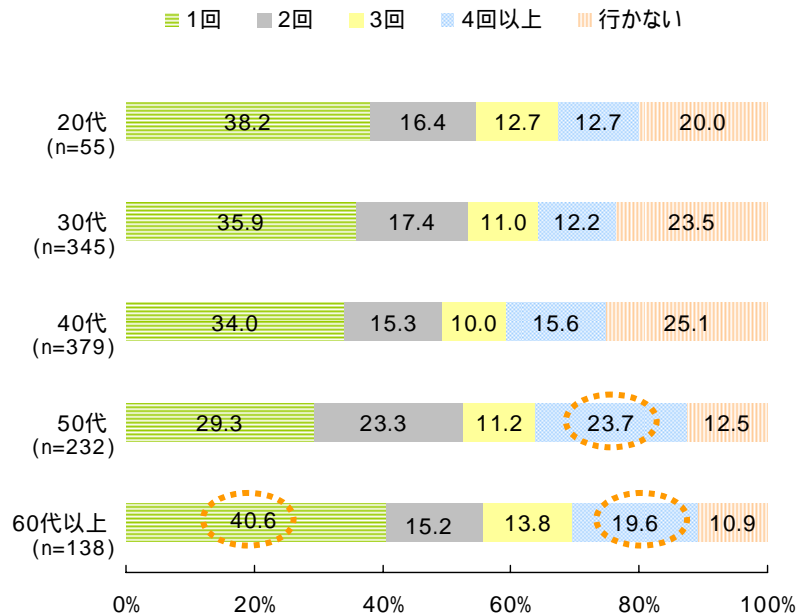
Q. ここ数年の平均的な自分の実家の墓のお墓参りの回数は？  
(SA)

(n=1149)



年代別

Q. ここ数年の平均的な自分の実家の墓のお墓参りの回数は？  
(SA)



平均的な夫の実家のお墓の“お墓参り“は、年「1回」31.8%。

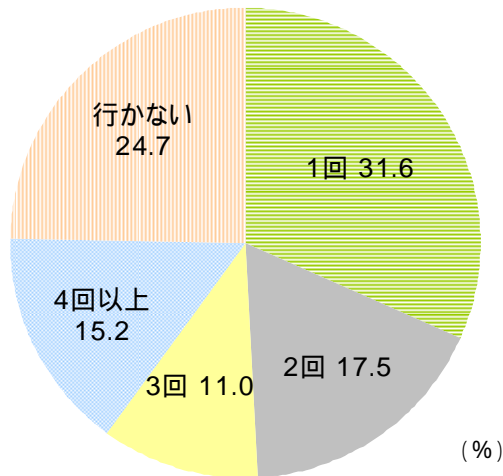
ここ数年の平均的な夫の実家の墓のお墓参りは、1年間に「1回」31.6%、次いで「2回」17.5%、「4回以上」15.2%となった。また、「行かない」という人は24.7%。

年代別でみると、自分の実家の墓同様、どの年代においても1年間に「1回」が最も多くなった。特に20代では約5割と高い。50代・60代以上では「4回以上」という人の割合が2割。また、どの年代においても、「行かない」という人が2割以上となった。

全体

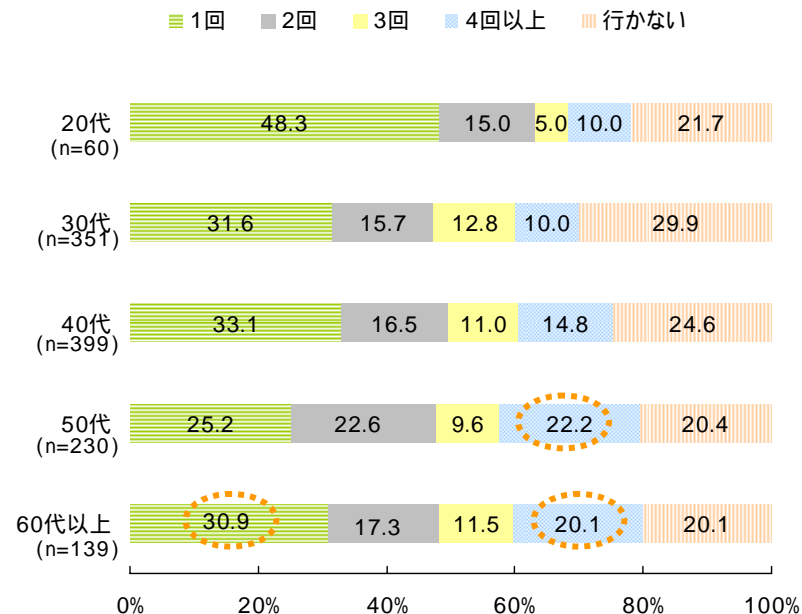
Q. ここ数年の平均的な夫の実家の墓のお墓参りの回数は？  
(SA)

(n=1179)



年代別

Q. ここ数年の平均的な夫の実家の墓のお墓参りの回数は？ (SA)



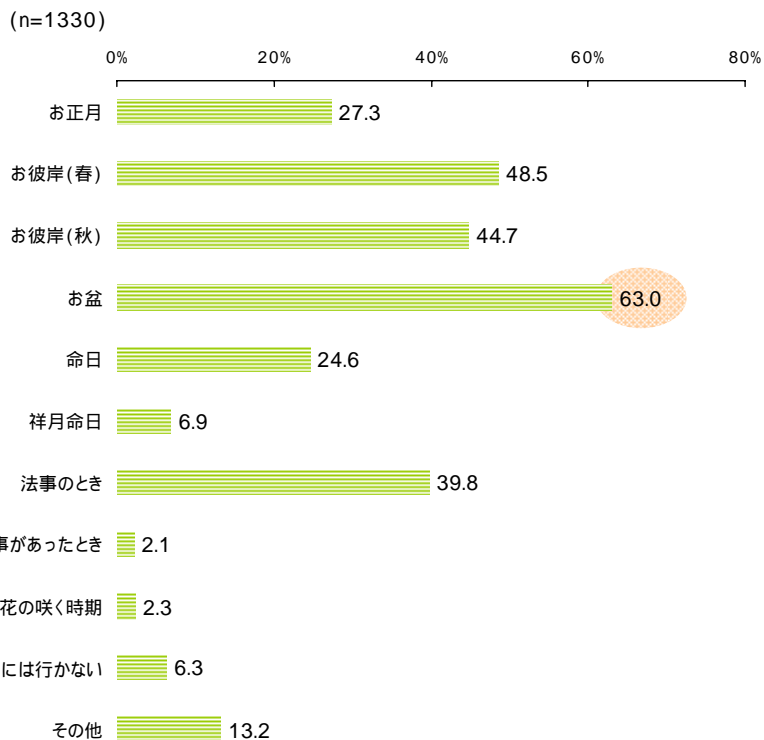
「お墓参り」よく行く時期は「お盆」63.0%。若い世代は「お彼岸」離れ？

お墓参りによく行く時期は「お盆」が63.0%でトップ。次いで「お彼岸(春)」48.5%、「お彼岸(秋)」44.7%。また帰省に合わせてという人も多い。

年代別で比べてみると、「お盆」や「正月」にお墓参りに行く割合は差がみられないが、「お彼岸(春・秋)」では、50代では5～6割であるのに対し、20代では2割台に激減。若い世代での「お彼岸」意識は薄れつつあるようだ。

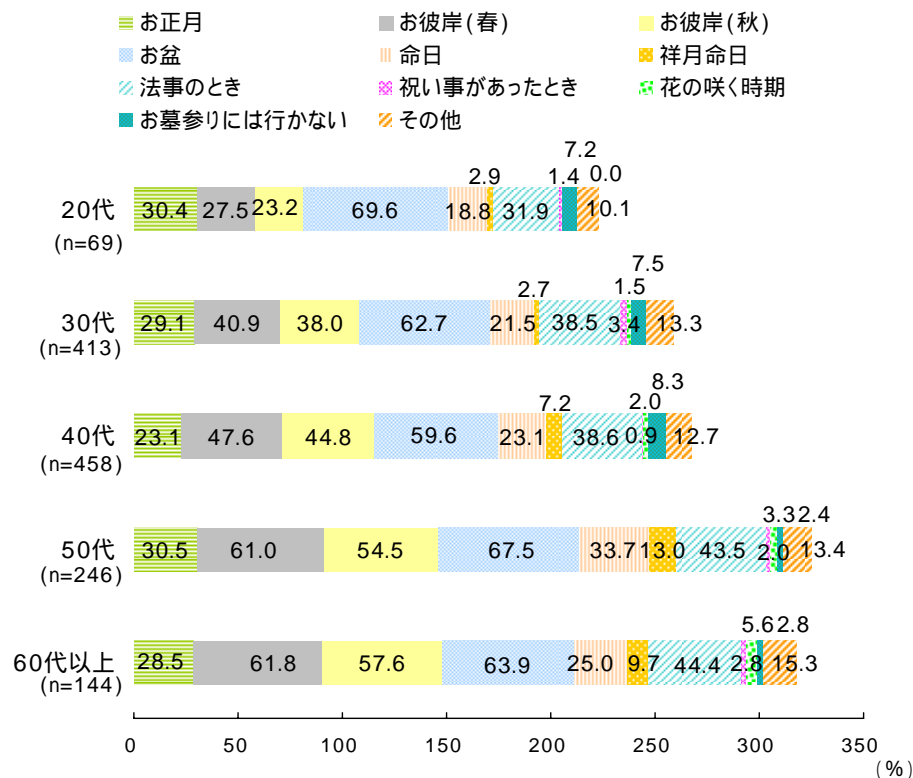
全体

Q. あなたが、お墓参りによく行くタイミングは？ (MA)



年代別

Q. あなたが、お墓参りによく行くタイミングは？ (MA)



今後の“お墓参り“は、「今と変わらない」61.8%。20代では「増えそう」約2割

ミセス自身のお墓参りの頻度は、今後どうなると思うか聞いたところ、「今と変わらない」61.8%、次いで「今後は減っていきそう」14.6%、「今後は増えていきそう」10.5%となった。

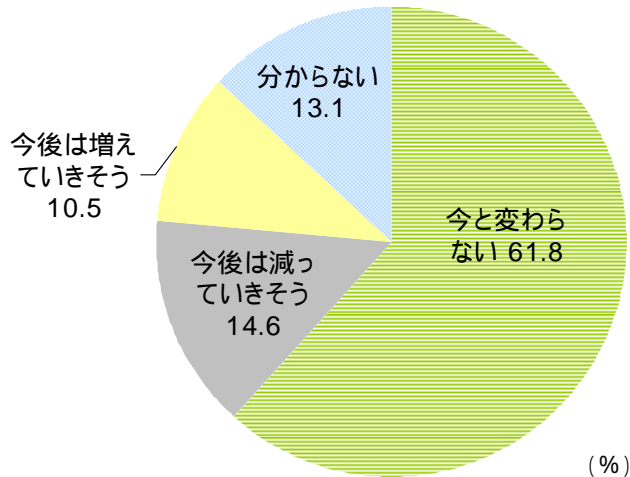
年代別でみると、どの年代においても「今と変わらない」が最も多くなった。特に50代・60代以上では65%前後と高い。20代では、「今後増えていきそう」という人が約2割いるが60代以上では「今後減っていきそう」という人の割合が2割台となった。

全体

Q. あなた自身のお墓参りの頻度は、今後どうなると思いますか？

(SA)

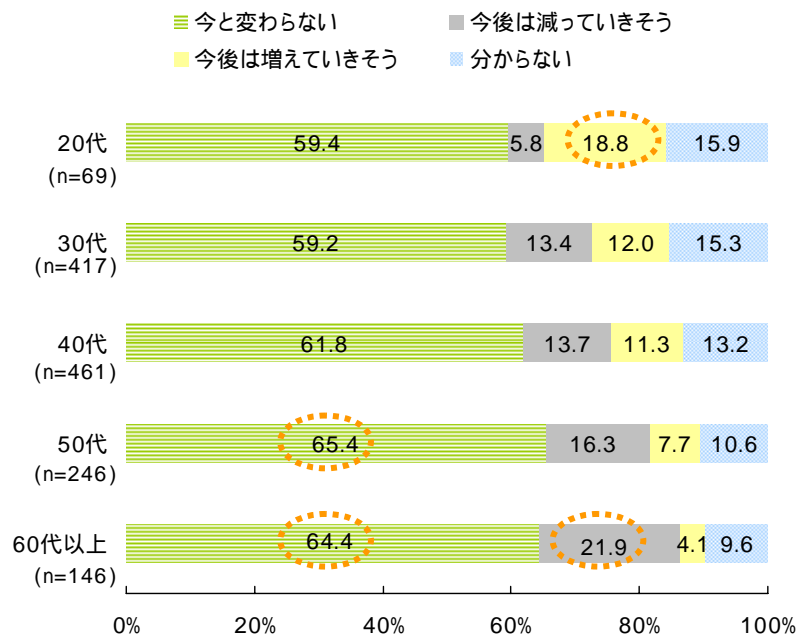
(n=1339)



年代別

Q. あなた自身のお墓参りの頻度は、今後どうなると思いますか？

(SA)





## 今後の自分自身のお墓参りの頻度は、どうなると思う？

その理由は... (フリーアンサーから抜粋)

### 【今と変わらない】

- 帰省の回数によるけど、大体年二回は帰省するから (34歳/専業主婦・埼玉県)
- 親が存命の間は帰省してるから行くが、代が変われば減ると思う (44歳/専業主婦・大阪府)
- 実家のお墓は遠いので、1年に1回ぐらいしか行けないと思います。主人の家はお墓参りを大切にしているので、これからも1ヶ月に1度は行くと思います (46歳/パート・アルバイト・東京都)
- 習慣になっているから (53歳/専業主婦・神奈川県)
- 元気な間はこれまでと変化はないと思います (54歳/専業主婦・熊本県)
- だんだん年をとっていくと、遠くまで行くのがおっくうになる (60歳/専業主婦・千葉県)

### 【今後は減っていきそう】

- 子供ができたり、仕事が忙しくなれば帰省する回数が減ると思われるので (24歳/フルタイム・京都府)
- 交通費・時間がかかり過ぎるから (38歳/専業主婦・福岡県)
- 実家の近くにあり 子供と遊びに行くがてらよく行くけれど、子供も大きくなると実家に行く回数が減ると思うので (38歳/専業主婦・神奈川県)
- お墓が遠くなったから (40歳/専業主婦・栃木県)
- 郷里と離れているので、帰省のときにしか行けないから (47歳/専業主婦・広島県)
- お墓は今後徐々に小さくコンパクトなものに移行していくと思われるため (50歳/その他・和歌山県)
- 自分の身体が不自由になってきているから (64歳/専業主婦・京都府)

### 【今後は増えていきそう】

- お墓参りの重要性を感じるようになったから (27歳/専業主婦・福岡県)
- 主人が、墓参りに行きたいと言うので増えると思います (29歳/パート・アルバイト・兵庫県)
- ちゃんとお参りしたいなと考えているから (35歳/その他・福井県)
- 子供が小さくてここ数年あまりお参りできてなかったが、成長するにしたがって足を運ぶ機会も増えると思います (40歳/専業主婦・京都府)
- まわりで高齢の方が増え、さらに法事も増えそうだから (41歳/専業主婦・兵庫県)
- 今までは祖父、祖母の墓だったので、お盆や法事のときぐらいだったが、今後親が亡くなれば墓参りする頻度は増えると思う (41歳/パート・アルバイト・兵庫県)
- 親をはじめ、身内が高齢になってくるから必然的に増えていきそう (42歳/専業主婦・東京都)
- 昨年末に義父が亡くなったばかりなので、これからは彼岸や盆に加えて命日や管理等で行く回数が増えるだろう (49歳/専業主婦・大阪府)

自分の葬儀は、どちらかというところ「やりたくない」37.9%。

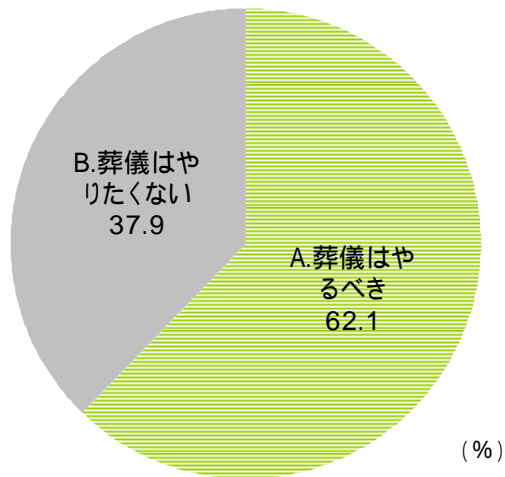
自分の葬儀への意向は、「葬儀はやるべき」62.1%、「葬儀はやりたくない」37.9%と、「やるべき」という人が6割以上となった。

年代別でみると、どの年代においても、どちらかというところ「葬儀はやるべき」を選んだ人が多くなった。特に20代では「葬儀をやるべき」が79.7%と高い。「葬儀はやりたくない」が最も多くなったのは、40代で43.6%。

全体

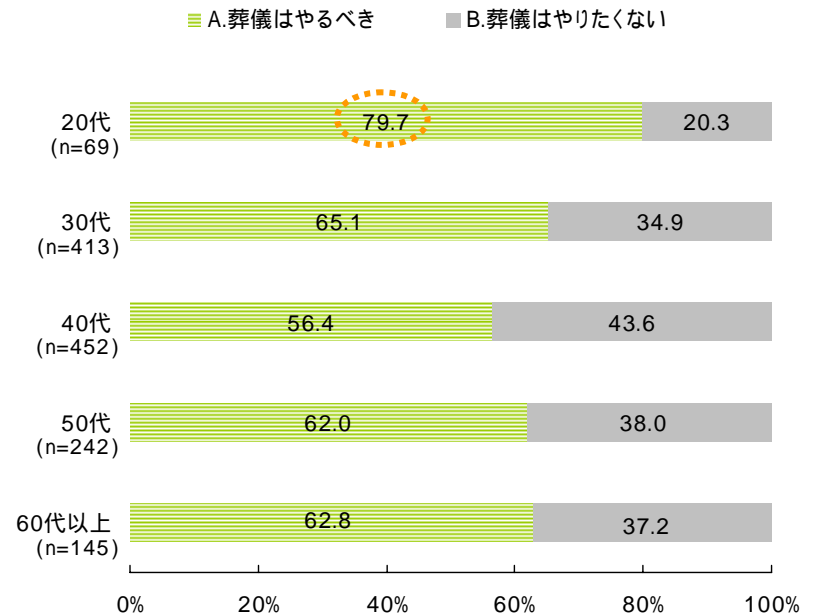
Q. 自分の葬儀への意向について、自分の気持ちが近いのは？  
(SA)

(n=1321)



年代別

Q. 自分の葬儀への意向について、自分の気持ちが近いのは？  
(SA)



自分の葬儀は、「宗教に関係ないかたちで」56.9%

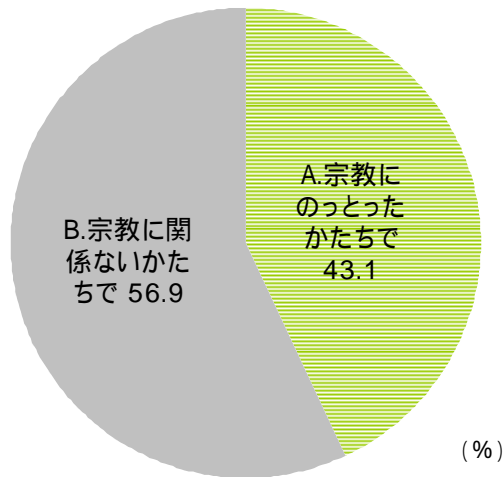
「葬儀はやるべき」と回答した人に、自分の葬儀の宗教について聞いたところ、「宗教にのっとったかたちで」43.1%、「宗教に関係ないかたちで」56.9%となった。

年代別でみると、50代・60代以上では「宗教にのっとったかたちで」を選ぶ人が5割台、6割台となっているのに対し、20代～40代では「宗教に関係ないかたちで」を希望する人が6割台と高い。

全体

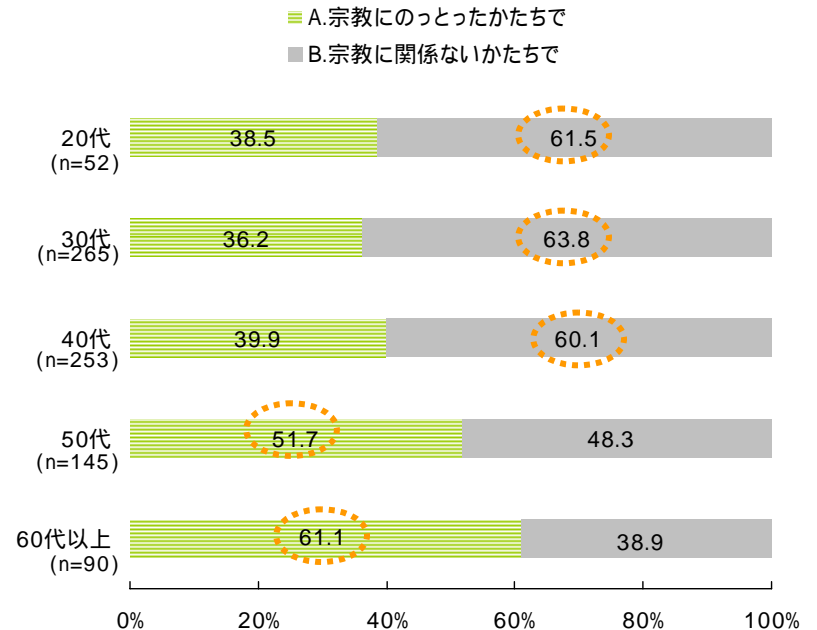
Q.「葬儀はやるべき」という人、  
宗教について、自分の気持ちが近いのは？(SA)

(n=805)



年代別

Q.「葬儀はやるべき」という人、  
宗教について、自分の気持ちが近いのは？(SA)



自分の葬儀の参列者は、「身内や身近な人だけで」84.9%。

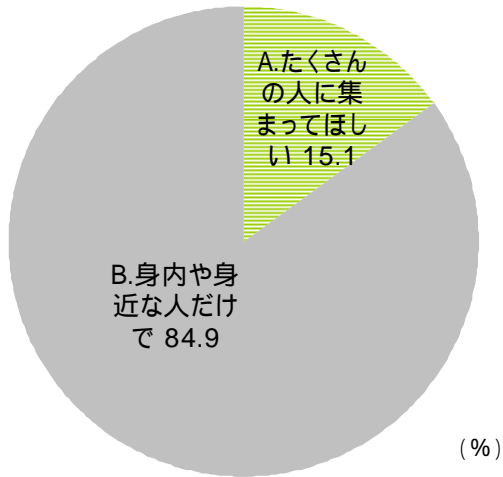
「葬儀はやるべき」と回答した人に、自分の葬儀の参列者について聞いたところ、「たくさんの人に集まってほしい」15.1%、「身内や身近な人だけで」84.9%と、近親者のみの参列を希望する人が圧倒的となった。

年代別でみると、20代では「たくさんの人に集まってほしい」を選ぶ人が2割と、他の年代に比べると多くなった。また、50代・60代以上では「身内や身近な人だけで」を希望する人が9割前後と高い。

全体

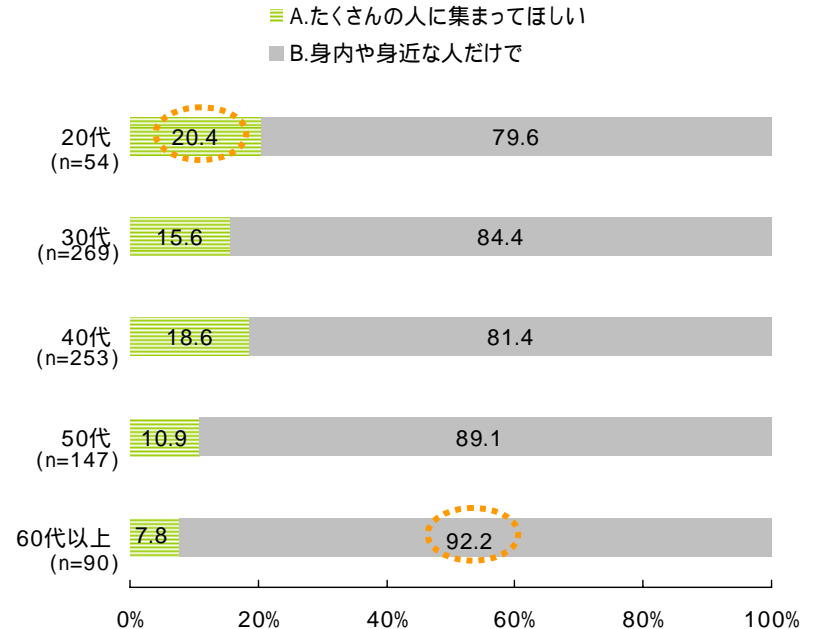
Q. 「葬儀はやるべき」という人、  
参列者について、自分の気持ちが近いのは？ (SA)

(n=813)



年代別

Q. 「葬儀はやるべき」という人、  
参列者について、自分の気持ちが近いのは？ (SA)



自分の葬儀のやり方は、「遺族にまかせる」68.2%。

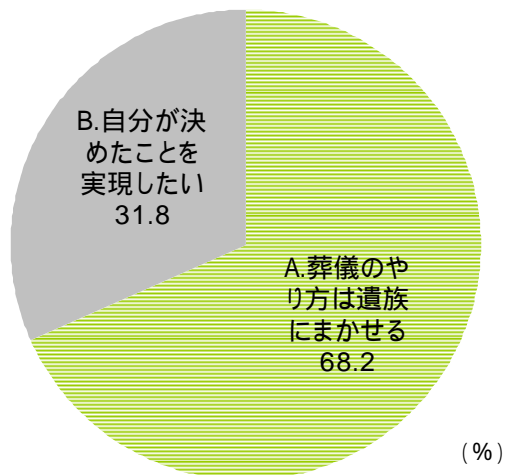
「葬儀はやるべき」と回答した人に、自分の葬儀のやり方の決め方について、「葬儀のやり方は遺族にまかせる」が68.2%、「自分が決めたことを実現したい」31.8%となった。

年代別でみると、どの年代においても「葬儀のやり方は遺族にまかせる」が多く、20代では78.2%と高い。50代・60代以上では「自分が決めたことを実現したい」を選ぶ人が4割前後と、他の年代に比べて多くなった。

全体

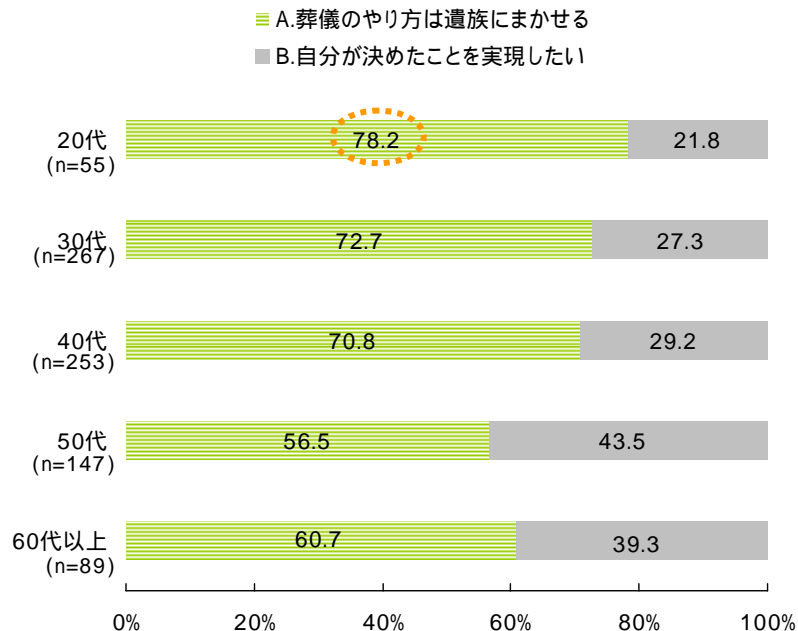
Q. 「葬儀はやるべき」という人、  
やり方について、自分の気持ちが近いのは？ (SA)

(n=811)



年代別

Q. 「葬儀はやるべき」という人、  
やり方について、自分の気持ちが近いのは？ (SA)



自分の葬儀の派手さは、「できるだけ質素に」95.3%。

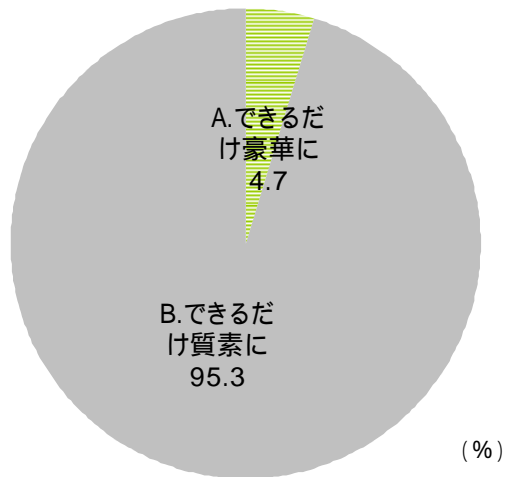
「葬儀はやるべき」と回答した人に、自分の葬儀の派手さについて聞くと、「できるだけ質素に」が95.3%、「できるだけ豪華に」4.7%となった。

年代別でみると、どの年代においても9割以上が「できるだけ質素に」を選んでいる。「できるだけ豪華に」を選んだ人の割合は若い年代ほど多いが、全体に1割未満となった。

全体

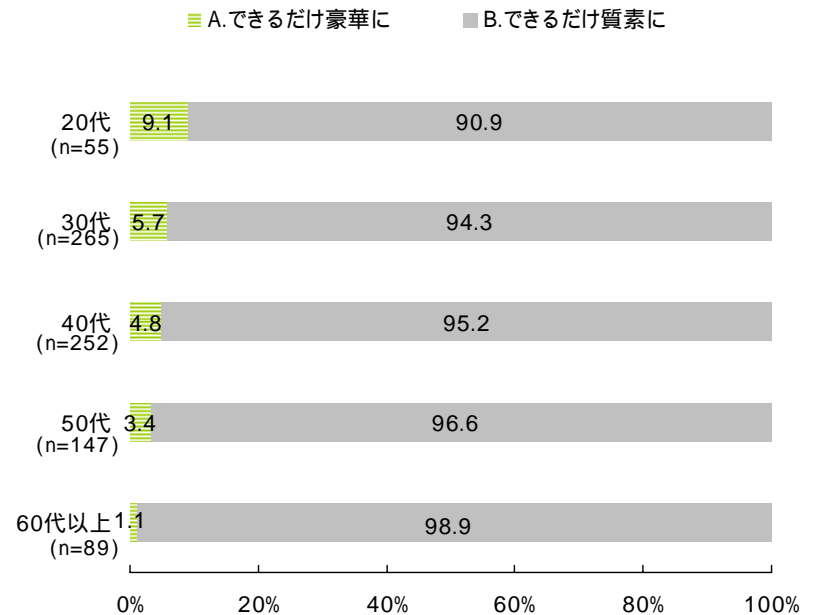
Q. 「葬儀はやるべき」という人、  
派手さについて、自分の気持ちが近いのは？ (SA)

(n=808)



年代別

Q. 「葬儀はやるべき」という人、  
派手さについて、自分の気持ちが近いのは？ (SA)



葬儀の時期は、「亡くなったときに葬儀をする方がいいと思う」94.9%。

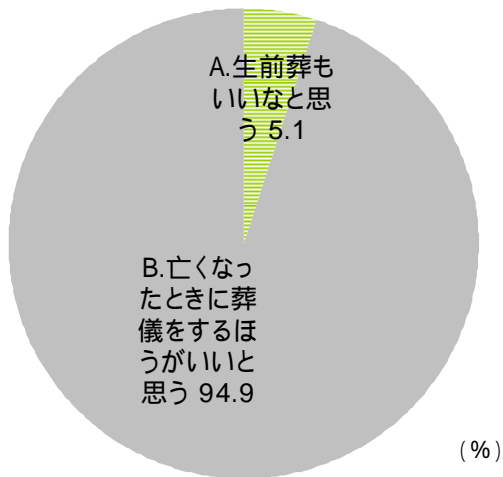
「葬儀はやるべき」と回答した人に、自分の葬儀の時期について聞くと、「亡くなったときに葬儀をする方がいいと思う」が94.9%、「生前葬もいいなと思う」5.1%となった。

年代別でみると、どの年代においても9割以上が「亡くなったときに葬儀をする方がいいと思う」を選んでおり、「生前葬もいいなと思う」を選んだ人は少数派となった。50代では他の年代と比較して「生前葬」を希望する人がやや高くなった。

全体

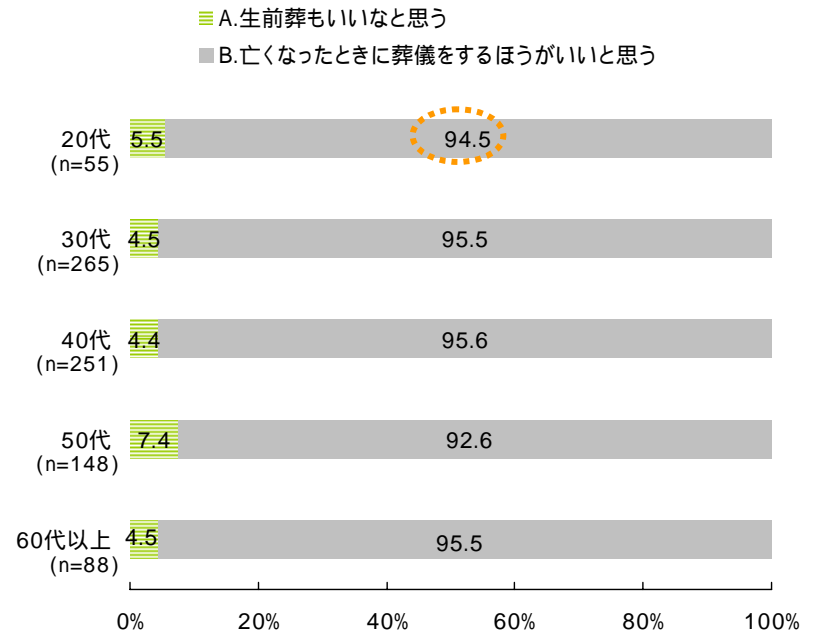
Q. 「葬儀はやるべき」という人、  
葬儀の時期について、自分の気持ちが近いのは？ (SA)

(n=807)



年代別

Q. 「葬儀はやるべき」という人、  
葬儀の時期について、自分の気持ちが近いのは？ (SA)



葬儀の費用は、「自分が用意しておく」71.6%。

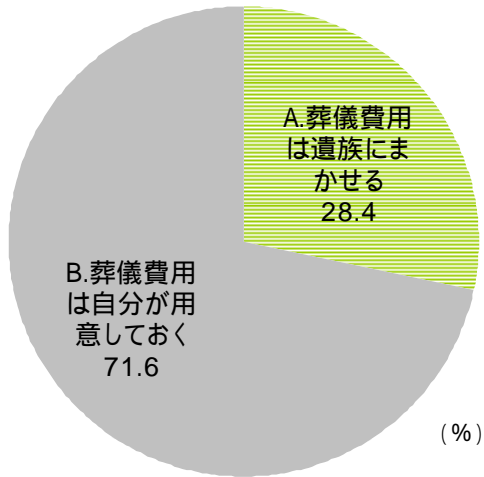
「葬儀はやるべき」と回答した人に、自分の葬儀の費用について聞くと、「葬儀費用は自分が用意しておく」が71.6%、「葬儀費用は遺族にまかせる」28.4%となった。

年代別でみると、どの年代においても「葬儀費用は自分が用意しておく」を選んでいる人が多く、50代・60代以上では8割前後となった。また、40代以下では「葬儀費用は遺族に任せる」を希望する人が3割台と50代以上を約10ポイント上回っている。

全体

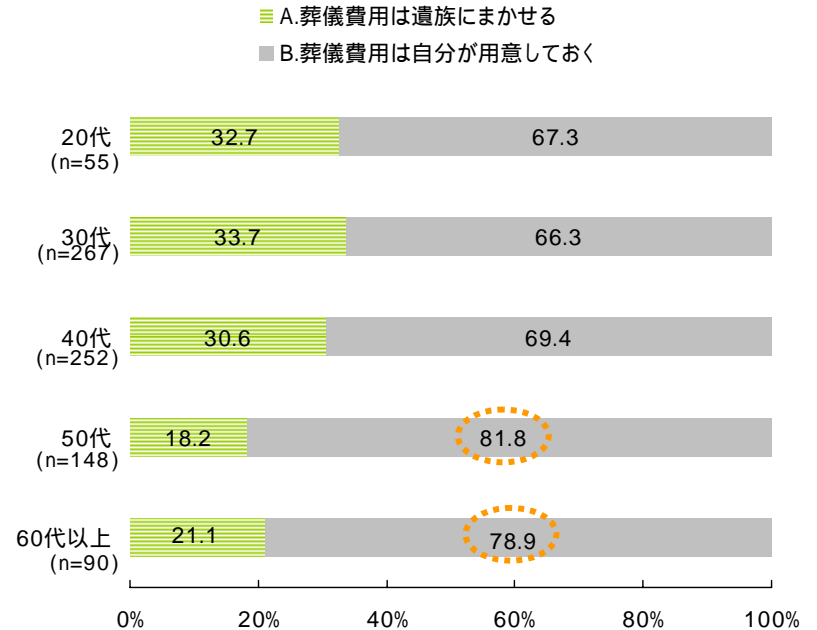
Q. 「葬儀はやるべき」という人、  
葬儀費用について、自分の気持ちが近いのは？ (SA)

(n=812)



年代別

Q. 「葬儀はやるべき」という人、  
葬儀費用について、自分の気持ちが近いのは？ (SA)





7割以上が「戒名はいらない」。

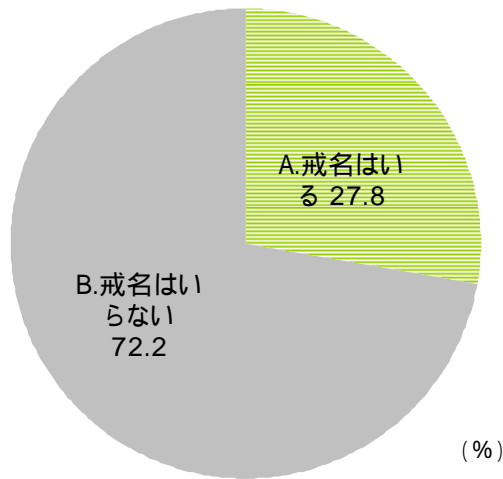
戒名について、ミセスの意向を聞いたところ、「戒名はいらない」72.2%、「戒名はある」27.8%と、いらないと感じている人が優勢となった。「葬儀はやるべき」と思う人も、戒名については58.9%が「戒名はいらない」となった。「葬儀はやらなくてもいい」と思う人では、94.4%と圧倒的である。

年代別でみると、どの年代においても「戒名はいらない」を選んだ人が多くなった。最も多いのは40代で76.7%と高い。20代では、「戒名はある」という人が約4割で、他の年代に比べて最も多い割合となった。

全体

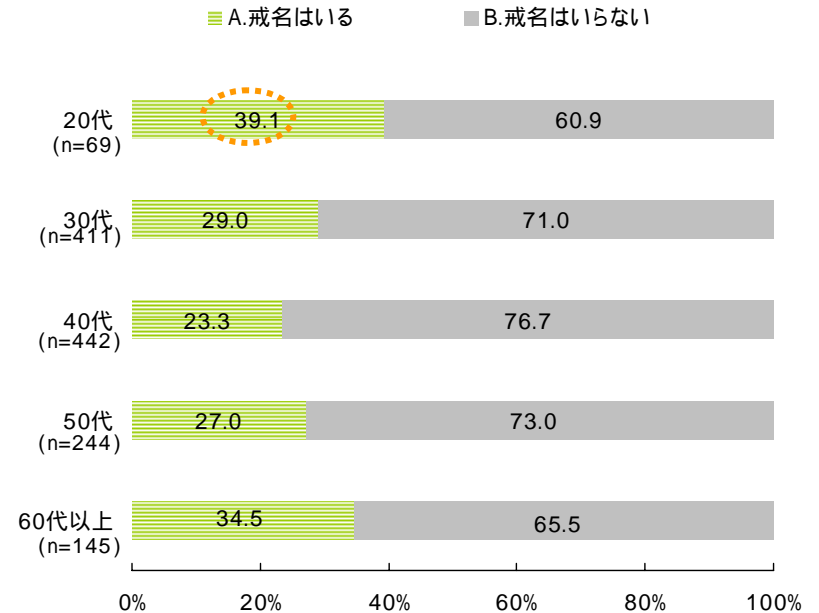
Q. 戒名について、自分の気持ちが近いのは？ (SA)

(n=1311)



年代別

Q. 戒名について、自分の気持ちが近いのは？ (SA)



世代に関係なく、「遺言は書いておきたい」59.2%。

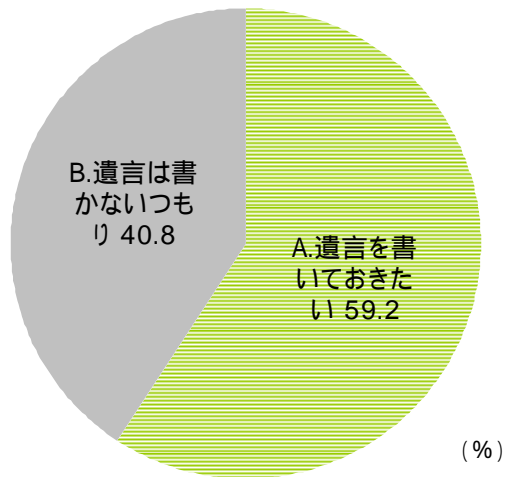
遺言については、葬儀への意向にや年代に関係なく「遺言を書いておきたい」という人が59.2%と約6割。「遺言は書かないつもり」という人は40.8%となった。

年代別でみると、どの年代においても「遺言を書いておきたい」という人が多く、全体に6割前後と大差ない結果となった。

全体

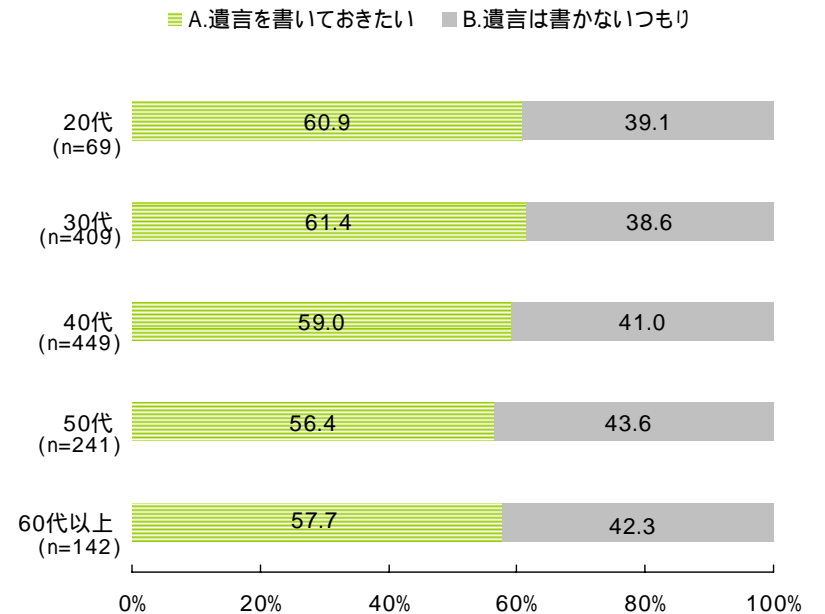
Q. 遺言について、自分の気持ちが近いのは？ (SA)

(n=1310)



年代別

Q. 遺言について、自分の気持ちが近いのは？ (SA)



「形見をもらってほしい人がいる」26.7%。

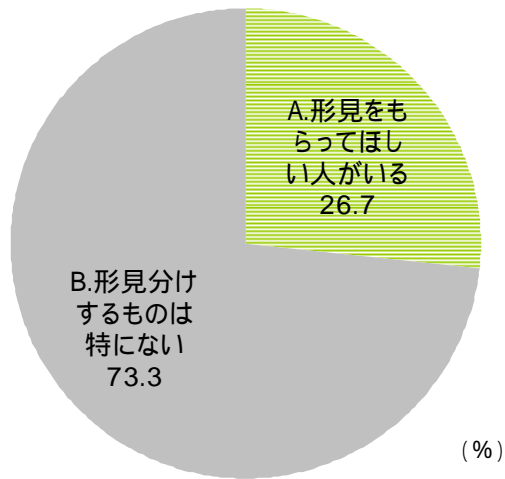
形見についてのミセスの意向は、「形見分けするものは特にない」73.3%、「形見をもらってほしい人がいる」26.7%。「葬儀はやるべき」と思う人では、「形見をもらってほしい人がいる」人は32.1%。「葬儀はやらなくてもいい」と思う人では、17.6%と、「葬儀をやるべき」という人の約半分となった。

年代別でみると、年代による差は見られない。

全体

Q. 形見について、自分の気持ちが近いのは？ (SA)

(n=1325)



年代別

Q. 形見について、自分の気持ちが近いのは？ (SA)

